

Ⅲ 診 療 業 務 概 要

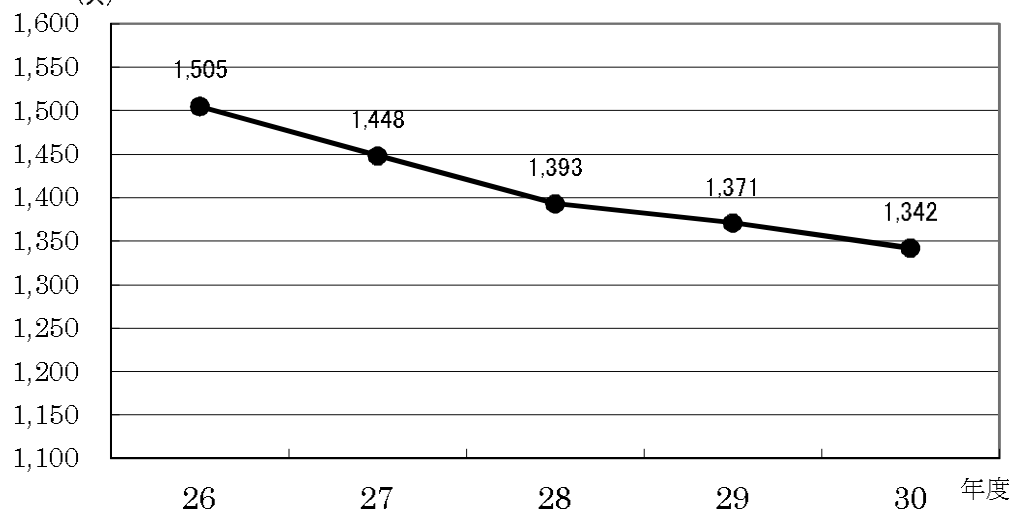
1 平成30年度外来患者状況

(H30.4～31.3)

科別	新患	一日平均	再来	一日平均	患者延数	一日平均	比率 (%)	平均 通院日数
内 科	9,313	38.2	98,064	401.9	107,377	440.1	32.8	11.5
精神・神経科	365	1.5	16,321	66.9	16,686	68.4	5.1	45.7
小 児 科	9,607	39.4	17,613	72.2	27,220	111.6	8.3	2.8
外 科	1,014	4.2	26,964	110.5	27,978	114.7	8.5	27.6
脳神経外科	473	1.9	3,950	16.2	4,423	18.1	1.4	9.4
整 形 外 科	2,679	11.0	27,402	112.3	30,081	123.3	9.2	11.2
形 成 外 科	456	1.9	2,622	10.7	3,078	12.6	0.9	6.8
心臓血管外科	15	0.1	1,723	7.1	1,738	7.1	0.5	115.9
皮 膚 科	1,356	5.6	16,415	67.3	17,771	72.8	5.4	13.1
泌 尿 器 科	736	3.0	16,988	69.6	17,724	72.6	5.4	24.1
産 婦 人 科	2,458	10.1	19,296	79.1	21,754	89.2	6.6	8.9
眼 科	341	1.4	9,099	37.3	9,440	38.7	2.9	27.7
耳鼻咽喉科	1,443	5.9	11,903	48.8	13,346	54.7	4.1	9.2
リハビリテーション科	11	0.0	3,478	14.3	3,489	14.3	1.1	317.2
放 射 線 科	418	1.7	6,320	25.9	6,738	27.6	2.1	16.1
歯科口腔外科	2,804	11.5	11,452	46.9	14,256	58.4	4.4	5.1
救命救急センター	2,435	10.0	1,974	8.1	4,409	18.1	1.3	1.8
小 計	35,924	147.4	291,584	1,195.1	327,508	1,342.3	100.0	9.1

注：小数点以下の端数処理の関係で、合計が一致しない場合がある。

外来患者数（1日平均）（人） （診療日数244日） 平均通院日数＝ $\frac{\text{患者延数}}{\text{新患者数}}$



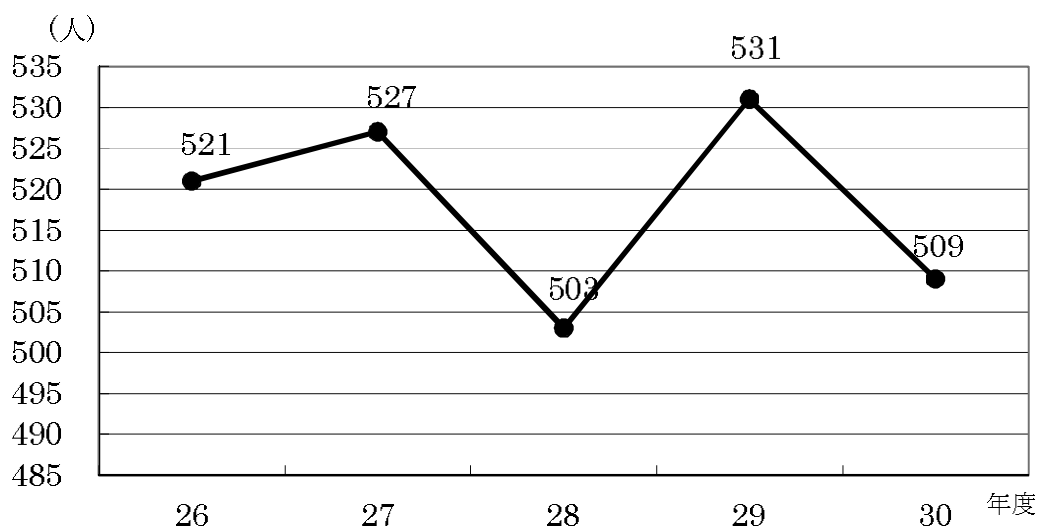
2 平成 30 年度入院患者状況

(H30.4～31.3)

科 別	前年度 繰 越	入 院	退 院	死亡 (再掲)	次年度 繰 越	患者延数	一日 平均	比率 (%)	平均入院 日 数
内 科	206	5,072	5,069	269	144	81,354	222.9	43.8	16.0
小 児 科	20	1,616	1,606	2	28	12,392	34.0	6.7	7.7
外 科	45	1,683	1,730	39	54	21,630	59.3	11.7	12.7
脳神経外科	12	213	212	5	9	4,059	11.1	2.2	19.1
整 形 外 科	40	1,158	1,229	2	45	20,793	57.0	11.2	17.4
形 成 外 科	3	74	81	0	1	740	2.0	0.4	9.5
心臓血管外	1	51	51	1	1	519	1.4	0.3	10.2
皮 膚 科	10	166	175	0	4	2,629	7.2	1.4	15.4
泌 尿 器 科	10	913	930	11	12	6,489	17.8	3.5	7.0
産 婦 人 科	25	1,914	1,927	6	24	15,357	42.1	8.3	8.0
眼 科	0	219	217	0	0	791	2.2	0.4	3.6
耳鼻咽喉科	15	424	429	3	15	5,909	16.2	3.2	13.9
リハビリ科	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0
放 射 線 科	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0
歯科口腔外	4	80	84	0	0	549	1.5	0.3	6.7
救命救急センター	17	853	748	283	15	6,308	17.3	3.4	7.9
小 計	408	14,436	14,488	621	352	179,519	491.8	96.7	12.4
感 染 症	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0
感染小児科	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0
精 神 科	17	188	191	0	17	6,126	16.8	3.3	32.3
合 計	425	14,624	14,679	621	369	185,645	508.6	100.0	12.7

注：小数点以下の端数処理の関係で、合計が一致しない場合がある。

入院患者数(1日平均)



3 病棟の利用状況

(1) 病棟別患者数

病 棟 名	病床数		延病床数		入院患者 延 数	前 月 繰越患者	入 院	転 入
	公称	稼働	公称	稼働				
1 4 階 北	52	42	18,980	15,330	14,418	36	629	214
1 4 階 南	51	46	18,615	16,790	15,762	41	749	211
1 3 階 北	51	46	18,615	16,790	15,429	34	954	448
1 3 階 南	53	48	19,345	17,520	16,108	39	784	196
1 2 階 北	51	46	18,615	16,790	14,184	32	1,669	101
1 2 階 南	53	48	19,345	17,520	16,240	42	735	288
1 1 階 北	53	48	19,345	17,520	13,897	34	1,039	217
1 1 階 南	53	48	19,345	17,520	13,684	35	1,066	257
1 0 階 北	53	48	19,345	17,520	15,390	35	883	129
1 0 階 南	52	47	18,980	17,155	14,722	30	1,129	68
精 神	38	36	13,870	13,140	6,118	17	188	11
9 階 南	20	20	7,300	7,300	4,514	10	1,539	126
9 階 西 感 染	12	12	4,380	4,380	886	0	116	43
8 階 北	44	42	16,060	15,330	9,588	16	1,235	4
8 階 南	41	41	14,965	14,965	9,104	16	1,506	7
G C U	18	18	6,570	6,570	2,165	3	126	164
N I C U	6	6	2,190	2,190	1,979	3	176	0
I C U・C C U	12	8	4,380	2,920	1,457	2	101	641
合 計	713	650	260,245	237,250	185,645	425	14,624	3,125
新 生 児	0	0	0	0	5,337	9	905	0

(2) 年間病床利用状況

病棟名	病床数		延病床数		入院患者 延数	前 月 繰越患者	入 院	転 入
	公称	稼働	公称	稼働				
一 般	663	602	241,995	219,730	179,527	408	14,436	3,114
感 染 症	12	12	4,380	4,380	0	0	0	0
精 神	38	36	13,870	13,140	6,118	17	188	11
合 計	713	650	260,245	237,250	185,645	425	14,624	3,125
新 生 児	0	0	0	0	5,337	9	905	0

(稼働日数 365日)

注：小数点以下の端数処理の関係で、合計が一致しない場合がある。

(H30.4～31.3)

退 院	転 出	期 末 患者数	一 日 平均	病床利用率(%)		平均 在院日数	死亡	健全化用 平均在院日数
				公称	稼働			
800	47	32	39.5	76.0	94.1	20.2	39	19.1
922	51	28	43.2	84.7	93.9	18.9	49	17.8
1,201	202	33	42.3	82.9	91.9	14.3	56	13.2
950	40	29	44.1	83.3	91.9	18.6	53	17.5
1,689	86	27	38.9	76.2	84.5	8.4	15	7.4
939	94	32	44.5	83.9	92.7	19.4	39	18.3
1,098	166	26	38.1	71.8	79.3	13.0	26	12.0
1,124	207	27	37.5	70.7	78.1	12.5	28	11.5
944	78	25	42.2	79.6	87.8	16.8	3	15.8
1,145	53	29	40.3	77.6	85.8	12.9	15	11.9
191	8	17	16.8	44.1	46.6	32.3	0	31.3
547	1,118	10	12.4	61.8	61.8	4.3	282	3.8
70	87	2	2.4	20.2	20.2	9.5	0	8.8
1,237	1	17	26.3	59.7	62.5	7.8	0	6.8
1,508	3	18	24.9	60.8	60.8	6.0	1	5.0
285	2	6	5.9	33.0	33.0	10.5	0	9.1
10	163	6	5.4	90.4	90.4	21.3	0	21.2
19	720	5	4.0	33.3	49.9	24.3	15	24.0
14,679	3,126	369	508.6	71.3	78.2	12.7	621	11.7
903	0	11	14.6			5.9	0.0	4.9

退 院	転 出	期 末 患者数	一 日 平均	病床利用率(%)		平均 在院日数	死亡	健全化用 平均在院日数
				公称	稼働			
14,488	3,118	352	491.9	74.2	81.7	12.4	621	11.4
0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0
191	8	17	16.8	44.1	46.6	32.3	0	31.3
14,679	3,126	369	508.6	71.3	78.2	12.7	621	11.7
903	0	11	14.6			5.9	0	4.9

$$\text{平均在院日数} = \frac{\text{患者延数}}{\text{入院+退院}}$$

2

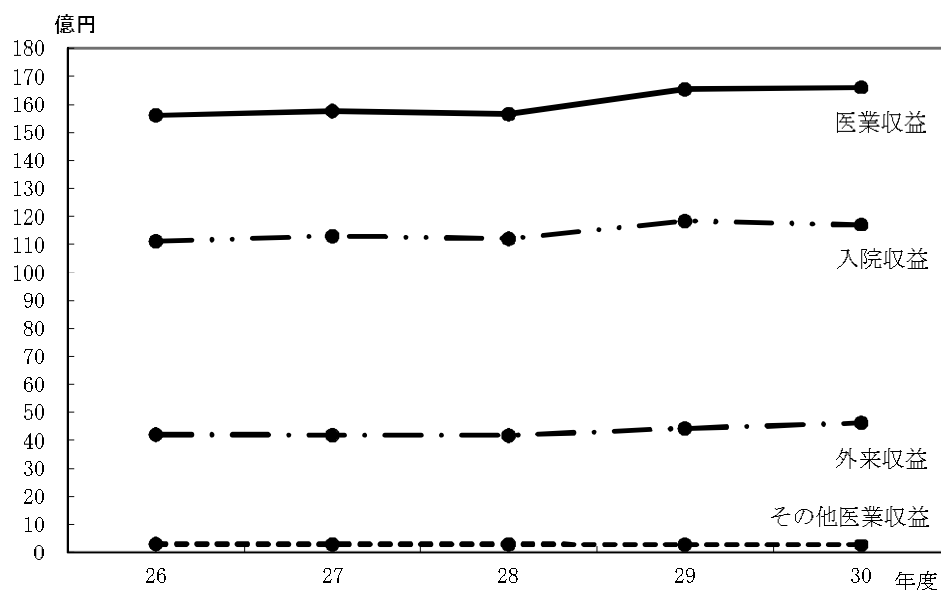
4 科別収益状況

科別の収益状況は、平成29年度の医業収益に対し、平成30年度の医業収益は、外来収益が4.4%の増収、入院収益は1.2%の減収で、その他医業収益は2.2%の増収となりました。医業収益全体では、率で0.4%、額で約5千7百万円の増収となりました。

(H30.4～H31.3) (単位：千円)

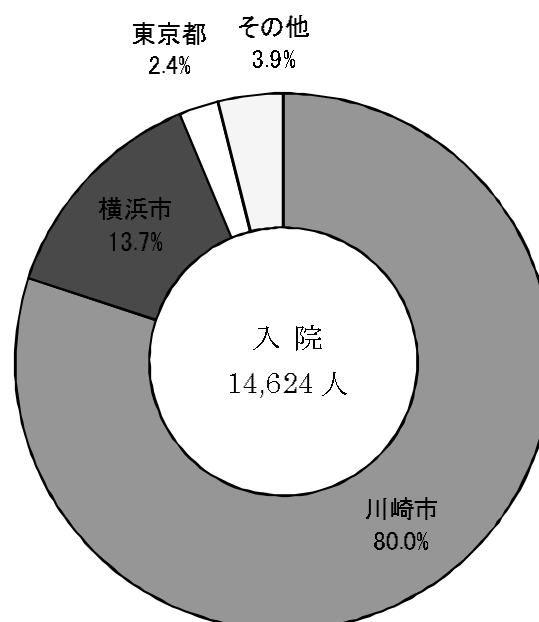
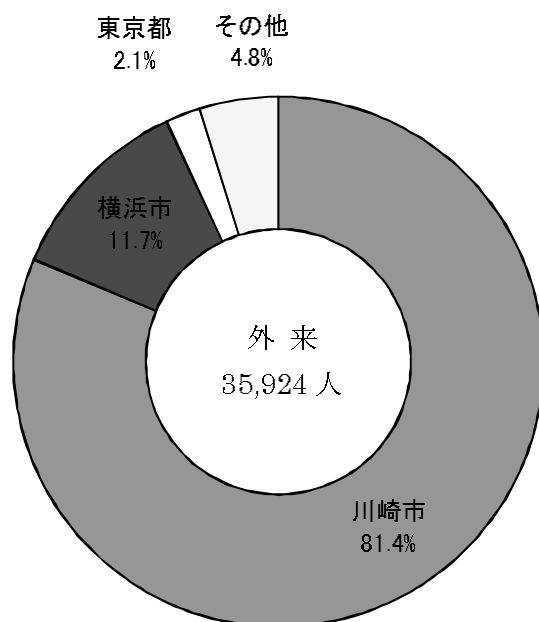
科 別	外 来		入 院		そ の 他 医業収益額	合 計	
	収益額	構成比率 (%)	収益額	構成比率 (%)		収益額	構成比率 (%)
内科	2,079,821	45.0	4,328,325	37.0	—	6,408,146	38.6
精神科	110,924	2.4	163,774	1.4	—	274,698	1.7
小児科	346,637	7.5	865,665	7.4	—	1,212,302	7.3
外科	540,753	11.7	1,766,424	15.1	—	2,307,177	13.9
脳神経外科	83,193	1.8	386,040	3.3	—	469,233	2.8
整形外科	203,360	4.4	1,555,857	13.3	—	1,759,217	10.6
形成外科	18,487	0.4	45,623	0.4	—	64,110	0.4
心臓血管外科	13,865	0.3	47,963	0.4	—	61,828	0.4
皮膚科	55,462	1.2	93,585	0.8	—	149,047	0.9
泌尿器科	332,771	7.2	514,720	4.4	—	847,491	5.1
産婦人科	291,175	6.3	1,006,043	8.6	—	1,297,218	7.8
眼科	97,058	2.1	70,189	0.6	—	167,247	1.0
耳鼻咽喉科	129,411	2.8	339,247	2.9	—	468,658	2.8
リハビリテーション科	23,109	0.5	0	0.0	—	23,109	0.1
放射線科	138,655	3.0	0	0.0	—	138,655	0.8
歯科・口腔外科	83,193	1.8	23,396	0.2	—	106,589	0.6
救命救急センター	73,949	1.6	491,323	4.2	—	565,272	3.4
感染症	—	—	—	0.0	—	0	0.0
その他医業収益	—	—	—	—	280,714	280,714	1.8
合 計	4,621,823	100.0	11,698,174	100.0	280,714	16,600,711	100.0

年度別収益グラフ



5 地区別新患外来・入院患者数

	区名	患者総数（人）		構成比率（％）		患者数及び比率	
		外 来	入 院	外 来	入 院	外 来	入 院
川 崎 市	川 崎 区	20,320	8,121	56.6%	55.5%	29,211人 81.4%	11,704人 80.0%
	幸 区	6,525	2,751	18.2%	18.8%		
	中 原 区	1,483	478	4.1%	3.3%		
	高 津 区	503	191	1.4%	1.3%		
	宮 前 区	206	90	0.6%	0.6%		
	多 摩 区	131	53	0.4%	0.4%		
	麻 生 区	43	20	0.1%	0.1%		
市 外	横 浜 市	4,217	1,997	11.7%	13.7%	6,713人 18.6%	2,920人 20.0%
	東 京 都	768	347	2.1%	2.4%		
	そ の 他	1,728	576	4.8%	3.9%		
合 計		35,924	14,624	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



6 救急患者取扱状況

(1) 月別取扱状況

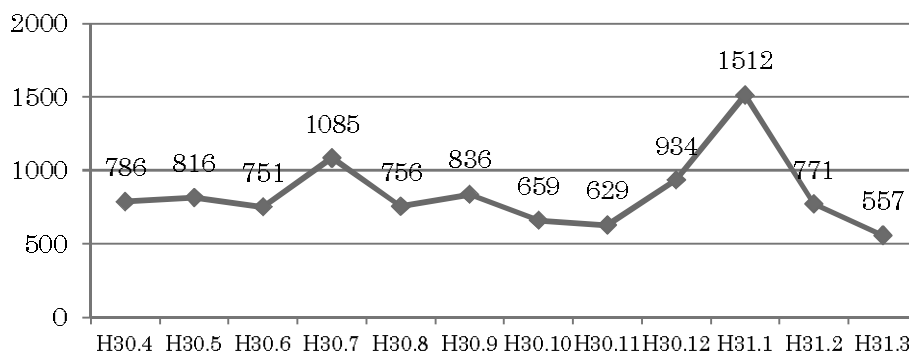
(H30.4～31.3) (単位：人又は台)

区分	交通事故	一般負傷	自損行為	急病	分娩	その他	合計	来院方法別患者数			
								救急車	パトカー	その他	合計
4月	17	116	6	1,601	38	81	1,859	363	1	1,495	1,859
5月	23	151	0	1,733	44	82	2,033	341	0	1,692	2,033
6月	22	107	4	1,467	43	71	1,714	332	1	1,381	1,714
7月	13	130	1	2,017	48	63	2,272	423	1	1,848	2,272
8月	16	111	0	1,580	33	39	1,779	363	1	1,415	1,779
9月	21	147	4	1,572	28	102	1,874	366	3	1,505	1,874
10月	16	126	0	1,370	36	58	1,606	309	1	1,296	1,606
11月	16	116	1	1,387	24	58	1,602	337	0	1,265	1,602
12月	17	120	1	1,956	26	78	2,198	391	2	1,805	2,198
1月	17	105	4	3,118	41	86	3,371	456	2	2,913	3,371
2月	18	89	3	1,628	35	50	1,823	332	1	1,490	1,823
3月	12	108	2	1,359	37	77	1,595	316	0	1,279	1,595
計	208	1,426	26	20,788	433	845	23,726	4,329	13	19,384	23,726
構成比率(%)	0.9	6.0	0.1	87.6	1.8	3.6	100.0	18.2	0.1	81.7	100.0

(2) 科別取扱状況

区分		内科	神経	小児	外科	脳外	整形	形成	心外	皮膚	泌尿	産婦人科	眼科	耳鼻	リハビリ	放射	口外	救命救急	合計
外来	患者数	5,515	26	9,480	71	873	155	0	121	264	132	69	84	585	0	51	437	2,591	20,454
	構成比率(%)	27.0	0.1	46.3	0.3	4.3	0.8	0.0	0.6	1.3	0.6	0.3	0.4	2.9	0.0	0.2	2.1	12.7	100
入院	患者数	1,399	23	425	133	60	1	0	24	2	29	538	0	29	0	0	2	607	3,272
	構成比率(%)	42.8	0.7	13.0	4.1	1.8	0.0	0.0	0.7	0.1	0.9	16.4	0.0	0.9	0.0	0.0	0.1	18.6	100
計	患者数	6,914	49	9,905	204	933	156	0	145	266	161	607	84	614	0	51	439	3,198	23,726
	構成比率(%)	29.1	0.2	41.6	0.9	3.9	0.7	0.0	0.6	1.1	0.7	2.6	0.4	2.6	0.0	0.2	1.9	13.5	100.0

(3) 平成30年度小児急病センター患者受入状況



7 救命救急センターの業務状況

(1) 体制・施設規模（平成31年4月1日現在）

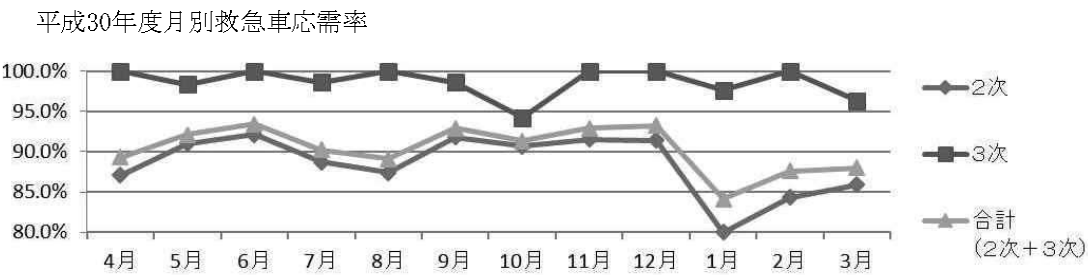
ア 体制 医師（常勤13人、非常勤3人）／看護師（常勤63人、臨時職員3人）

イ 施設規模 20床（I C U 4床、救急病床 16床）

(2) 受入状況

ア 当院で救急車を受入れた救急車総数（5,916台）のうち、ホットライン経由で救急車を受入れた件数は、4,713台で、応需率は2次85.9%、3次96.3%、2次・3次合わせて88.0%になります。

（平成30年度）



イ 平成30年度救命救急センター受入状況

	総数	時間		救急隊								傷病分類					トリアージ区分					転送												
		深夜	日勤	夜勤	川崎南	川崎中	川崎北	横浜	東京	その他	内因性		外傷		CPA	1次 軽症	2次 中等症	3次		帰宅	爆発	入院							転送		死亡			
											3%未満	3%以上	重症	死亡				計	救命救急			内科	外科	整形外科	脳外	小児	その他							
合計	4,740	1,209	1,838	1,692	4,268	122	19	268	49	14	3,277	1,412	1,455	485	8	2,312	1,281	1,134	13	2,455	1,934	595	1,111	90	50	32	5	51	90	261				
1月平均	395.0	100.8	153.3	141.0	355.7	10.2	1.6	22.3	4.1	1.2	273.1	117.7	121.3	40.4	0.7	192.7	106.8	94.5	1.1	204.6	161.2	49.6	92.6	7.5	4.2	2.7	0.4	4.3	7.5	21.8				
1日平均	13.0	3.3	5.0	4.6	11.7	0.3	0.1	0.7	0.1	0.0	9.0	3.9	4.0	1.3	0.0	6.3	3.5	3.1	0.0	6.7	5.3	1.6	3.0	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.2	0.7				

ウ 平成30年度三次救急の内訳 (単位：人)

		重症 脳血管 障害	急性冠 症候群・ 心不全	肝不全 腎不全	多発 外傷	急性 中毒	意識 障害	その他	CPA ※心肺 停止	CPAの うち蘇生 成功数
合計	1,199	97	68	9	105	64	25	500	279	52
1日平均	3.3	8.1	5.7	0.8	8.8	5.3	2.1	41.8	23.3	—
傷病別割合	100.0%	8.5%	5.9%	0.8%	9.2%	5.6%	2.2%	43.6%	24.3%	—

※受入全体中の死亡者数227人（救命救急センター受入全体の18.9%）

エ 平成30年度救命救急センター患者受入状況（件数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
399	368	361	444	405	408	363	396	432	460	348	356	4,740

8 高度脳神経治療センターの業務状況

平成29年4月に、急性期脳卒中患者の治療の合理化・迅速化を図るために、高度脳神経治療センターが開設されました。

当センターは、脳神経外科、神経内科、救急科などの複数の臨床科の密な連携を図り、迅速かつ正確な急性期脳卒中治療を提供します。当センターの特徴としては、

- ① 脳神経外科を中心とする複数の関連した臨床科が協力して、迅速な治療を提供します。
- ② 各科の専門医が、24時間対応で、直接診療にあたります。
- ③ 救急車搬送の救急患者さまが対象ですが、紹介による急性期患者も引き受けます。
- ④ 早期からリハビリを行い、脳卒中連携パスを利用して、早期の転院を促します。

(1)診療体制（平成30年4月1日現在） 直属医師3名 兼務医師19名

脳神経外科：5名（センター直属3名）	神経内科：3名
救急科：5名	総合内科：2名
麻酔科：2名	リハビリテーション科：3名
放射線科：1名	小児科：1名

(2)急性期脳卒中患者の受け入れ・治療状況

①超急性期脳梗塞患者の来院・治療状況

高度脳神経治療センター H29年4月～H31年3月

	患者数				t-PA 治療	血栓回収
	救急搬送	Walk In	院内発症	合計	施行例	施行例
H29年度上半期	16	1	1	18	5	2
H29年度下半期	4	4	3	11	3	0
H29年度合計	20	5	4	29	8	2
H30年度上半期	13	6	6	25	7	4
H30年度下半期	7	3	4	14	5	0
H30年度合計	20	9	10	39	12	4

②脳血管障害患者の手術状況（過去5年間）

	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年
脳動脈瘤手術	19(7)	18(6)	21(13)	15(8)	17(7)
破裂脳動脈瘤	11(3)	8(3)	11(6)	8(5)	9(5)
未破裂脳動脈瘤	8(4)	10(3)	10(7)	7(3)	8(2)
脳(硬膜)動静脈奇形手術	2(1)	0(0)	3(1)	2(1)	3(3)
高血圧性脳内血腫	10	7	6	7	3
閉塞性血管障害、他	5(4)	2(1)	2(2)	11(10)	10(10)

()内は、そのうちの血管内手術件数

9 専門外来及び診療相談

各科専門外来

科 別	内 容
内 科	リウマチ膠原病・痛風センター、循環器、呼吸器、糖尿病、消化器、腎臓、神経内科、内分泌、感染症
精 神 ・ 神 経 科	心理面接
小 児 科	心臓、循環器、神経、内分泌、代謝、予防接種、腎臓、呼吸器、精神衛生、フォローアップ、アレルギー、血液
新 生 児 内 科	フォローアップ、1か月健診
外 科	食道、胃、大腸、肛門、肝臓、胆嚢、脾臓、乳腺、血管、肺、小児外科
心 臓 血 管 外 科	心臓・大動脈の外科手術、ペースメーカー
整 形 外 科	外傷、リウマチ、骨粗しょう症、脊椎、（肩、肘、手、股、膝）関節外科、骨軟部腫瘍
産 科 ・ 婦 人 科	手術診、子宮鏡、ハイリスク妊娠、婦人科腫瘍フォローアップ
眼 科	網膜硝子体、白内障、光凝固、蛍光眼底、未熟児、視野
耳 鼻 咽 喉 科	頭頸部腫瘍、神経耳科、めまい、甲状腺
皮 膚 科	光線
泌 尿 器 科	自己導尿指導、フォローアップ、ストマ及び特殊検査、膀胱鏡
歯 科 口 腔 外 科	顎関節症、歯科矯正相談、うけ口、埋伏歯抜歯、歯科インプラント
リハビリテーション科	義肢装具、嚥下障害、ボトックス（痙攣治療）、高次脳機能障害

- 1 神奈川リウマチ友の会：関節リウマチや膠原病の患者を中心に組織し、リウマチ膠原病に関する知識の向上・会員相互の親睦を図ることを目的としています。昭和38年7月発足（当時40名）、昭和45年10月から「神奈川県リウマチ友の会」と改組し、事業として会誌の発行や講演会を開催し、日本リウマチキャンペーンの一翼となっています。
- 2 かわびょう糖友会（糖尿病友の会）：糖尿病の治療及び予防に関する知識の普及並びに会員の福祉の増進を目的として昭和38年に発足しました。糖尿病患者、医療スタッフ会員で組織されています。糖尿病啓発事業やスタッフ勉強会を開催するとともに、神奈川県糖尿病協会主催の講演・講習会、研修旅行、ウォークラリーなどの各種事業に参加しています。
- 3 母親学級：当院で出産予定の妊婦を対象として、妊娠、分娩、産褥及び育児についての保健指導をしています。前期・後期の2回コースで、妊娠の生理、妊産婦の栄養、バースプラン、分娩の進行と呼吸法・補助動作、母乳育児、赤ちゃんについてなど、ビデオや実習を交えて行っています。それぞれに、医師、助産師、栄養士、看護師が担当しています。
- 4 分娩入院説明：当院での分娩予定者で、妊娠28週以降の方全員を対象に、オリエンテーションを行っています。内容は、入院の時期、入院時の持ち物、入院中の生活についてです。その目的は、陣発時や入院時の不安を軽減し、入院がスムーズにできることです。第1、第2水曜日に助産師・看護師が説明を行っています。

10 手術件数

(1) 手術室における手術件数

	外科	脳神経外科	整形外科	形成外科	心臓血管外科	皮膚科	泌尿器科	産科・婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	歯科口腔外科	精神科	麻酔科	救命科	合計
中央手術室	1,151	173	1,182	76	2	10	630	933	3	341	79	227	6	0	4,813
外来手術室	103	0	143	160	0	99	0	911	473	1	40	0	0	0	1,930
手術室合計	1,254	173	1,325	236	2	109	630	1,844	476	342	119	227	6	0	6,743

※ 産科・婦人科については外来手術室に分娩室を含む。

(2) 心血管・検査、血管内治療・検査（手術室No. 2・No. 3室使用状況）

	放射線科	内科	心臓外科	脳神経外科	外科	他科	合計
血管内治療・検査	144			82	206		432
心血管治療・検査		612					612
ペースメーカー埋め込み			54				54
体外ペースメーカー		7					7
血管外治療・検査	67						67
その他の	9	2	4	18			33
合計	220	621	58	100	206	0	1,205

(3) 主な手術の内容

ア 外科

術 式	件 数		
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
食道癌手術	14	4	3
食道裂孔ヘルニア手術	1	0	1
特発性食道破裂手術	0	1	0
胃全摘術	10	15	10
幽門側胃切除術	29	29	22
局所切除術	6	1	5
バイパス術	3	2	5
広範囲胃切除術	1	1	1
グラハム術	8	10	5
胃単純縫合術	1	0	0
合 計	73	63	52
右側結腸手術	42	32	41
左側結腸手術	29	31	32
直腸手術	16	20	32
ハルトマン術	21	15	5
人工肛門造設術	26	30	20
人工肛門閉鎖術	16	6	8
肛門手術（痔核その他）	7	6	11
合 計	157	140	149
肝切除術	34	28	27
胆嚢摘出術	75	80	134
膵頭十二指腸切除術	11	13	20
尾側膵切除術	5	10	3
その他	4	9	8
合 計	129	140	192
乳癌手術	108	83	73
Bt	44	38	43
Bp	64	45	30
乳房温存率	59%	54%	41%
SN 生検施行率	66%	75%	75%
良性疾患	7	6	20
合 計	115	89	93
動脈瘤	36	30	38
末梢性動脈疾患	87	91	96
急性動脈閉塞症	27	36	30
下肢静脈瘤	51	51	52
内シャント関連	61	138	142
その他	41	16	20
合 計	303	366	378

イ 呼吸器外科

分 類	病 名 及 び 術 式	件 数		
		平成28年度	平成29年度	平成30年度
肺 癌	肺全摘出	0	0	1
	肺葉切除	23	33	21
	肺区域・部分切除	3	3	6
	胸腔鏡下肺葉切除	31	39	60
	胸腔鏡下肺区域・部分切除	6	5	14
	気管支形成術を伴う肺葉切除	2	2	0
	試験開胸術	0	0	1
転 移 性 肺 腫 瘍	肺全摘出	0	0	0
	肺葉切除	0	0	0
	肺区域・部分切除	2	4	5
	胸腔鏡下肺葉切除	0	0	1
	胸腔鏡下肺区域・部分切除	5	10	9
肺（その他悪性）	胸腔鏡下肺区域・部分切除	2	1	1
肺（良 性）	肺全摘出	0	0	0
	肺葉切除	2	3	1
	肺区域・部分切除	1	2	0
	胸腔鏡下肺葉切除	1	0	0
	胸腔鏡下肺区域・部分切除	4	3	2
気胸・嚢胞性肺疾患	肺部分切除・肺縫縮術等	6	2	1
	胸腔鏡下肺部分切除・肺縫縮術等	19	33	18
縦 隔 腫 瘍	胸腺摘出術	1	4	6
	腫瘍摘出術	5	7	5
重症筋無力症	拡大胸腺摘出術	0	0	0
縦 隔（その他）	腫瘍・リンパ節生検	0	5	2
	リンパ節摘出	0	0	0
	交感神経節切除	0	0	0
	胸膜肺全摘	0	0	1
胸 膜（悪 性）	生検	1	4	3
	腫瘍摘出術	0	0	0
胸 膜（良 性）	生検	3	7	5
	開窓術	1	0	0
	筋弁充填・剥皮術	1	0	0
	腫瘍摘出術	1	0	2
	肺葉切除等	3	0	0
胸 外 其 他		4	5	4
計		127	172	169

ウ 脳神経外科

分 類	病 名 及 び 術 式	件 数		
		平成28年度	平成29年度	平成30年度
腫 瘍	メニンジオーマ	9	9	10
	グリオーマ	8	10	8
	転移性脳腫瘍	14	24	16
	頭蓋咽頭腫	0	0	0
	下垂体腫瘍	4	5	5
	その他の腫瘍	2	5	5
		37	53	44
血 管 疾 患	脳動脈瘤（直達手術のみ）	6	8	11
	高血圧性脳出血	4	6	3
	脳動静脈奇形（直達手術のみ）	1	1	0
	血管内手術・出血性疾患（脳動脈瘤・動静脈奇形）	12	9	6
	血管内手術・閉塞性疾患（ステント・血栓除去など）	4	10	12
	その他（水頭症など）	13	10	10
		40	44	42
外 傷	慢性硬膜下血腫（水腫）	25	19	41
	急性硬膜下血腫	1	7	4
	急性硬膜外血腫	0	2	3
	陥没骨折	0	1	0
	骨弁形成術・減圧開頭術	1	5	1
	その他（水頭症など）	1	5	0
		28	39	49
水 頭 症	癌性髄膜炎・正常圧水頭症など	9	39	23
奇 形	髄膜瘤など	1	0	0
そ の 他	その他	56	44	33
		171	219	191

エ 整形外科

術 式	件		数	
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
脊柱、脊髄、頸椎、前方	6	8	15	235
〃、後方	55	42	52	
胸椎、前方	1	0	0	
〃、後方	7	2	9	
腰椎、前方	3	7	15	
〃、後方	131	134	144	
腱、神経	109	85	79	
骨 折	315	384	369	
骨折以外の外傷	45	37	40	
抜 釘	76	102	83	
手の手術	201	94	125	
先天性奇形	2	5	4	
骨軟部腫瘍	39	35	47	
関節鏡 手	10	10	17	129
肘	2	8	5	
肩	62	60	57	
膝	42	50	47	
股	0	4	3	
人工股関節	52	59	66	191
人工膝関節	58	84	97	
人工肩関節	7	6	21	
その他の人工関節(肘、指、足)	9	7	7	22
上肢切断術(指含む)	1	2	3	
下肢切断術(踵含む)	13	12	19	
その他	2	47	0	
計	1,248	1,284	1,324	

オ 形成外科

分 類	件 数		
	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
I. 外傷	198	243	310
II. 先天異常	7	21	3
III. 腫瘍	252	208	188
IV. 瘻痕・瘻痕拘縮・ケロイド	22	43	50
V. 難治性潰瘍	6	26	24
VI. 炎症・変性疾患	22	18	19
VII. 美容（手術）	50	60	85
VIII. その他	0	8	11
計	557	627	690

カ 心臓血管外科

分 類	病 名	術 式	件 数		
			平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
心大血管	大動脈				
	●胸部、胸腹部	人工血管置換術 他	27	30	0
	先天性心疾患	開心術	0	1	0
	後天性心疾患				
	●弁 膜 症	人工弁置換術、弁形成術	18	23	0
	●冠動脈疾患	冠動脈バイパス術 他	11	9	0
	●心房細動	メイズ手術（単独）	0	0	0
	●そ の 他		0	0	0
	心外傷				
	その他	ペースメーカー移植 心カテアンギオ検査 その他	} 37	} 60	} 48
計			93	93	48

キ 皮膚科

術 式	件 数		
	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
皮膚生検	196	178	147
皮膚良性腫瘍摘出	283	295	240
皮膚悪性腫瘍摘出	11	13	27
計	490	486	414

ク 泌尿器科

術 式	件 数		
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
後腹膜腫瘍摘出	0	1	0
腹腔鏡下副腎摘除術	3	2	3
副腎全摘除術	0	0	0
腎摘除術（良性）	0	0	1
根治的腎摘除術（悪性）	2	0	2
腎部分切除術	5	3	1
腹腔鏡下腎摘除術	15	14	16
腹腔鏡下腎部分切除術	9	10	3
ロボット支援腎部分切除術	—	—	4
腎尿管全摘除術	1	0	2
腹腔鏡下腎尿管全摘除術	5	14	16
腎盂形成術	2	0	1
腹腔鏡下腎盂形成術	1	1	1
腎瘻造設術	11	12	18
P N L	4	3	6
腎盂切石	0	1	1
膀胱切石術	0	1	0
膀胱全摘除術	0	1	0
腹腔鏡下膀胱全摘除術	4	11	9
回腸導管造設術（膀胱全摘を伴うもの）	4	10	7
回腸導管造設術（膀胱全摘を伴わないもの）	2	1	0
代用膀胱造設術	0	1	0
尿管皮膚瘻造設術	0	0	1
経尿道の手術			
a) 膀胱結石、異物	15	9	20
b) T U R B T	117	110	140
c) T U R P (TUEB, HoLEPを含む)	41	53	52
d) T U L	59	81	82
e) 経尿道的尿管狭窄拡張術	6	2	3
f) 内尿道切開切開術	2	2	16
g) 尿道狭窄拡張術	4	6	3
膀胱尿管新吻合	2	2	0
尿管尿管吻合	1	0	2
膀胱修復術	1	2	0
包茎手術			
a) 背面切開	0	0	0
b) 環状切開	3	4	4
精巣摘出術	3	4	16
高位精巣摘除術	3	2	4

術 式	件 数		
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
精巣固定術（停留精巣）	0	0	0
精巣（辜丸）捻転手術	1	1	2
陰嚢水腫根治手術	6	5	4
精索静脈瘤切除術	1	0	1
尿膜管嚢胞切除術	0	0	4
前立腺摘除術	0	0	0
腹腔鏡鏡下前立腺摘除術	9	0	0
ロボット支援腹腔鏡下前立腺摘除術	31	42	51
前立腺針生検術	151	150	179
陰茎全摘除術	0	0	0
陰茎部分切除術	1	0	1
陰茎癌鼠径リンパ節廓清術	0	0	0
陰茎折症	0	0	0
E SWL	39	33	31
腎生検	5	9	5
尿管ステント留置	75	89	109
経皮的腎嚢胞縮小術	0	1	0
CVポート	5	8	5
膀胱瘻造設術	3	3	2
その他（R Pなど）	25	22	34
腹腔鏡下膀胱部分切除術	1	0	0
腹腔鏡下尿膜管切除術	0	3	4
腹腔鏡下腎嚢胞開窓術	0	0	0
陰嚢内腫瘍摘除術	0	0	0
経尿道的電気凝固止血術	4	2	7
計	682	741	873

ケ 産科・婦人科

術 式	件 数		
	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
内視鏡手術 合計	465	405	434
腹腔鏡手術 合計	194	202	234
腔式子宮全摘術	64	67	89
子宮筋腫核出術	40	45	43
付属器切除術	29	32	33
卵巣腫瘍摘出術	44	40	57
卵管開口術			
子宮外妊娠手術	11	12	7
その他	6	6	5
子宮鏡手術 合計	271	203	200
粘膜下筋腫摘出術	247	183	168
その他	24	20	32
婦人科開腹手術 合計	151	155	129
良性腫瘍手術 合計	105	106	81
腹式単純子宮全摘術	57	67	48
腔上部切断術	0	0	0
子宮筋腫核出術	33	23	23
付属器切除術	8	7	8
卵巣腫瘍摘出術	3	5	0
子宮外妊娠手術（開腹）			
その他良性腫瘍手術	4	3	2
悪性腫瘍手術 合計	46	49	48
拡大子宮全摘術	24	22	18
広汎子宮全摘術	3	3	3
卵巣癌根治術	13	12	13
試験開腹	2	3	1
その他悪性腫瘍手術	4	9	4
産科手術 合計	301	268	265
帝王切開術	285	250	257
妊娠子宮摘出術			0
頸管縫縮術	2	4	3
卵管結紮術	14	14	5
その他産科手術			0
腔式手術 合計	78	93	73
子宮全摘＋腔壁形成	6	3	2
腔壁形成術		5	7
腔閉鎖術	1	2	0
子宮腔部円錐切除術	50	68	45
バルトリン腺手術	2	0	1
その他腔式手術	14	15	18
子宮内容除去手術 合計	52	72	54
流産手術	35		39
胞状奇胎除去術	1		
人工妊娠中絶術			
内膜ポリープ切除術			
全面搔爬術	16		15
計	1,047	993	942

コ 眼科

術 式	件 数		
	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
白内障	334	209	258
硝子体手術	69	56	34
緑内障	4	3	0
網膜剥離（強膜バックリング）	1	1	0
斜 視	0	0	0
眼瞼腫瘍	0	0	0
眼瞼内反、眼瞼外反	0	0	2
眼球破裂	2	1	0
眼内異物	1	0	0
翼状片	1	2	2
霞粒腫	2	0	1
黄斑下血腫移動術	1	0	0
眼内レンズ整復	2	2	1
結膜弛緩症	0	0	0
眼内レンズ縫着術・強膜内固定術	9	7	5
眼窩脂肪ヘルニア	0	0	0
眼瞼下垂	2	0	1
その他		2	9
硝子体注射	134	153	177
光凝固術			
網 膜	39	28	28
緑内障	9	8	8
後発白内障	40	28	28
光線力学療法	0	0	14
計	650	500	501

サ 耳鼻咽喉科

分 類	病 名	術 式	件 数			
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	
耳	慢性中耳炎	鼓室形成	7 側	2 側	1 側	
		乳突削開術	3 側	2 側	2 側	
		鼓膜形成	3 側	2 側	1 側	
鼻	滲出性中耳炎	鼓室内チューブ留置	30 側	38 側	28 側	
	先天性耳瘻孔	瘻孔摘出	3 側	4 側	3 側	
	外耳道その他		1	1	1	
	良性腫瘍	腫瘍摘出	3	5	5	
	慢性副鼻腔炎	内視鏡下副鼻腔手術	41 側	45 側	37 側	
	頬部嚢腫	上顎洞根本術	0	0	2	
	鼻中隔彎曲症	鼻中隔矯正術	17	17	16	
	肥厚性鼻炎	下甲介切除術	19 側	4 側	6 側	
	上顎骨鼻骨骨折	整 復	8	6	4	
	鼻茸その他		3	3	4	
	鼻副鼻腔悪性腫瘍		1	1	4	
	咽頭	アデノイド増殖	アデ切除	15	31	31
喉頭	慢性扁桃炎	扁桃摘出	70 側	89 側	98 側	
	咽頭良性腫瘍	摘出・切除	5	8	4	
	声帯ポリープ、他	ラリングマイクロ	20 側	23 側	24 側	
舌・ 口腔	悪性腫瘍	ラリングマイクロ	3	7	12	
	良性腫瘍・チステ	摘出・切除	7	2	5	
顎頸部	唾液腺手術					
		良性手術摘出	15	23	18	
		(顎下腺 2、 耳下腺 13)	(顎下腺 8、 耳下腺 15)	(顎下腺 10、 耳下腺 8)		
	甲状腺手術	悪性手術摘出	3	6	3	
		良性手術摘出	7	12	9	
		悪性手術摘出	16	13	24	
	頸部のう胞他	良性	6	4	5	
		摘 出	14	15	21	
		気管切開	39	41	43	
	頭頸部 悪性	舌・口腔	悪性手術摘出	3	8	7
		咽頭	悪性手術摘出	5	12	17
		喉頭	悪性手術摘出	4	5	4
頸部郭清		28	26	38		
皮弁形成		6	5	7		
その他		42	48	39		
計			447	508	523	

シ 歯科口腔外科

術 式	件 数		
	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
〈入院手術症例〉			
上下顎骨形成術	6	3	1
顎顔面多発骨折観血的整復固定術	2	2	
下顎骨骨折観血的整復固定術	4	9	3
頬骨骨折観血的整復固定術			
固定金属板除去術	5	9	7
唇顎口蓋裂手術			
顎骨嚢胞摘出術	32	33	23
顎骨骨髓炎手術	3	5	6
上顎洞根本術			
上顎洞口腔瘻閉鎖術	1		
唾石摘出術	1		1
腫瘍摘出術	9	23	23
顎骨腫瘍摘出術	1	4	2
口腔・顎・悪性腫瘍切除術	3	4	4
顎骨・顔面再建術			1
下顎・口蓋隆起形成術	13	7	2
埋伏歯抜歯術	24	20	23
顎関節脱臼観血手術			
顎関節授動術（開放）			
歯根端切除術		15	18
インプラント関連手術		3	4
心身障害児歯科治療		5	1
その他		12	
〈外来手術症例〉			
埋伏歯抜歯術	980	1,092	872
抜歯術	1,206	1,139	1,246
嚢胞摘出術	49	73	88
歯根端切除術	42	41	39
縫合術	20	27	23
腫瘍摘出術	35	41	40
矯正用インプラント埋入術	8	13	18
インプラント埋入術	11	17	14
インプラント骨移植術	5	3	2
その他	263	334	323
計	2,738	2,917	2,784

11 分娩件数

術 式	件 数		
	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
単胎分娩	1,032	950	866
双胎分娩	18	11	15
経膣分娩	764	711	624
帝王切開分娩	285	250	257
帝王切開率	27.2%	26.0%	29.2%
早産分娩	103	105	86
正期産分娩	940	867	808
過期産分娩	0	0	0
早産率	9.6%	10.8%	9.6%
吸引分娩	46	33	69
鉗子分娩	0	0	0
骨盤位分娩	0	0	0
V B A C	0	1	0
予定帝王切開	168	150	144
緊急帝王切開	117	100	113
緊急帝王切開率	11.1%	10.4%	12.8%
母体搬送依頼（出）	2	3	7
母体搬送応需（入）	25	40	38
院外分娩	3	5	3
分娩時平均年齢	30.8 歳	31.1 歳	31.3 歳
初産	526	468	456
経産	537	504	440
男児	552	485	453
女児	515	487	443
川崎区	569	525	483
幸区	191	206	166
中原区	34	31	28
川崎市	831	787	698
鶴見区	77	58	51
横浜市	110	85	91
大田区	42	29	41
東京都	69	52	62
川崎市民の割合	79.1%	81.9%	79.2%
分 娩 件 数	1,050	961	881
分 娩 総 数	1,068	972	896

12 麻酔科及びMEセンター状況

(1) 麻酔科

分類・年度	診療科	一般外科	心臓外科	形成外科	放射線科	精神科	脳外科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	産科・婦人科	眼科	耳鼻科	歯科口腔外科	循環器科	麻酔科	救急科	計
麻酔科 管理	27	872	35	54	22	168	105	1,002	6	412	970	0	260	63	5	0	3	3,977
	28	807	76	78	10	340	84	1,049	7	440	1,000	2	212	54	1	0	1	4,161
	29	903	49	78	3	251	112	1,070	4	504	949	0	259	73	0	1	0	4,256
	30	943	1	68	29	227	85	1124	9	607	993	3	286	49	8	6	0	4,378

(2) MEセンター

多くの医療機器が使用される最近の医療現場では、医師や看護師のみでは効率的かつ安全な医療の遂行が難しくなり、医学的な知識のみならず工学的な知識と技術を持つ専門家として、昭和63年に誕生したのが臨床工学技士です。臨床工学技士は医療技術者の一つで、厚生労働大臣の免許を受けて「医師の指示の下に呼吸、循環、代謝に関わる生命維持管理装置の操作及び保守点検を行うことを業とする」（臨床工学技士法第2条）とされています。

業務体制としては、手術室部門・人工呼吸器部門・血液浄化部門・心臓カテーテル部門・ペースメーカー部門・ME機器部門など多岐に分かれます。

ア 臨床業務実績件数

業務内容	項目	平成29年度	平成30年度
血液浄化	CHDF	105	185
	PMX-DHP	15	5
	PE	10	18
	ビリルビン吸着	0	0
	出張HD	61	53
	LCAP	0	0
透析室	透析室	776	1199
人工呼吸器	人工呼吸器ラウンド	2,654	2,354
	RST 総合ラウンド	400	397
	回路交換	20	8
カテーテル業務	CAG	356	333
	PCI	194	192
	緊急カテ	95	82
	IVUS	250	217
	FFR	22	36
	Rotablator	15	28
	テンポラリーPM挿入	3	9
	IABP	7	5

業務内容	項目	平成 29 年度	平成 30 年度
ペースメーカー業務	新規植込	20	26
	電池交換	17	21
	植込 1 週間後チェック	22	17
	緊急チェック	9	62
	術中管理	11	22
	外来	373	303
体外循環	人工心肺	27	0
	PCPS（管理日数）	17 (30)	16 (44)
	V-V ECMO	0	0
オペ室業務	セルセーバー	106	71
	オペ室対応	463	563
	da vinci 業務	43	54
	脳神経外科ナビゲーション	49	36
	術中神経モニタリング	9	0
病棟	病棟対応	276	157

イ 機器管理業務実績件数

	項目	平成 29 年度	平成 30 年度
点検	輸液ポンプ	1,130	1,114
	シリンジポンプ	762	721
	除細動器	199	185
	自動体外式除細動器	108	99
	閉鎖式保育器	217	231
	PCA ポンプ	106	131
	人工呼吸器	903	915
	人工心肺	27	0
	PCPS	11	16
	テンポラリーPM	303	116
	麻酔器	2,492	2,349
	血液ガス装置	492	488
	電気メス	2,920	2,333
	ハーモニック	174	190
	サンダービート	19	92
	高周波メス	54	23
	内視鏡	1,339	1,193
	ソノサージ	5	4
	医療用レーザー	89	84
	手術支援システム	22	21

	離床センサー	19	25
	経腸栄養ポンプ	2	4
	反復圧迫治療器	240	303
	パルスオキシメーター	245	284
	超音波ネブライザ	26	24
	ベッドサイドモニタ	451	581
	送信機	25	40
	血圧計	89	104
修理	輸液ポンプ	8	1
	シリンジポンプ	21	6
	血圧計	67	46
	反復圧迫治療器	90	80
	送信機	5	9
	ベッドサイドモニタ	7	6
	低圧持続吸引器	5	3
	経腸栄養ポンプ	0	2

13 内視鏡センター利用状況

分 類	件 数		
	平成 28 年度	平成29年度	平成30年度
上部消化管内視鏡	5,402	5,588	5,652
超音波内視鏡	2	6	7
食道・胃粘膜切除術	38	34	42
(食道粘膜切除術)	7 (ESD7)	7 (ESD5)	10 (ESD8)
(胃粘膜切除術)	31 (ESD31)	27 (ESD27)	32 (ESD31)
中・下咽頭粘膜切除術	0	0	0
上部消化管静脈瘤治療	26	28	20
(EVL)	(24)	(27)	(18)
(EIS)	(2)	(1)	(2)
胃静脈瘤硬化療法 (SOS)	0	0	0
狭窄拡張術	40	34	31
止血術	165	121	126
人工食道挿入	2	0	0
胃ろう造設 (PTEG)		54	71
イレウス管挿入	2	9	3
異物除去	15	22	20
下部消化管内視鏡	1,990	2,028	2,179
大腸粘膜切除術	278 (ESD14)	263 (ESD15)	303 (ESD5)
大腸ポリペクトミー	118	133	132
吻合部拡張術	1	0	10
止血術	8	17	20
小腸鏡		2	6
カプセル内視鏡	9	13	18
気管支鏡	322	320	276
経気管支肺生検			
膵・胆道内視鏡	276	327	384
逆行性膵・胆管造影	212	225	260
超音波内視鏡	64	102	124
EUS-FNA	(3)	(5)	(20)
乳頭括約筋切開術	89	80	97
乳頭バルーン拡張術	19	22	15
胆管結石採石・砕石術	79	80	108
経鼻胆道ドレナージ術	60	86	95
胆管ステント挿入術	29	42	41
膵管ステント挿入術	13	17	19
乳頭切除術	1	3	1
細胞診	14	1	1
組織診	15	0	0
計	8,000	8,278	8,515

14 クリニカルパス使用件数

平成30年度クリニカルパス使用件数

病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
14N	6	12	7	13	10	7	7	11	11	11	11	10	116
14S	8	7	12	14	12	10	17	10	11	10	12	7	130
13N	35	39	61	51	45	44	53	56	37	29	46	49	545
13S	16	9	8	12	15	13	15	16	13	19	13	12	161
12N	90	91	107	111	138	119	113	108	101	113	110	102	1,303
12S	23	18	23	24	19	20	20	25	23	19	23	21	258
11N	54	27	25	27	30	27	29	30	24	22	26	37	358
11S	42	33	35	40	42	33	35	43	32	42	39	34	450
10N	80	79	86	81	87	88	88	98	78	70	87	79	1,001
10S	69	80	91	91	83	93	80	73	65	81	100	91	997
9N	5	8	8	6	2	4	3	8	9	9	4	2	68
9S	13	5	14	15	11	8	10	7	6	11	11	12	123
9W	0	2	2	0	3	1	0	0	1	3	1	0	13
8N	109	117	119	124	98	92	117	102	105	116	123	114	1,336
8S	22	19	20	24	28	20	19	28	25	24	13	28	270
8W	9	9	14	13	10	8	8	6	12	9	11	11	120
I C U	2	1	2	2	2	1	1	2	1	1	2	3	20
O P E	205	211	225	240	270	198	232	236	225	235	205	256	2,738
合計	788	767	859	888	905	786	847	859	779	824	837	868	10,007

15 外来治療センター利用状況

平成30年度治療患者数

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大腸	45	54	66	34	51	44	46	54	34	54	48	49	579
胃	8	10	14	19	22	12	14	15	14	18	16	25	187
肝胆膵	26	36	25	25	32	18	23	26	24	28	22	27	187
乳腺	37	52	47	48	48	43	60	45	44	46	51	38	559
呼吸器	40	66	63	66	54	56	66	65	76	73	64	49	738
造血器	17	26	25	13	16	13	6	8	6	11	10	14	165
婦人科	12	13	16	12	15	11	17	25	17	14	6	4	162
脳神経	10	11	10	10	7	8	7	8	7	10	9	16	113
泌尿器	11	16	16	27	20	21	20	30	23	29	32	31	276
頭頸部	9	6	8	10	9	6	10	8	4	14	12	7	103
その他	0	0	2	2	1	0	0	0	0	6	5	1	17
生物学的製剤	32	46	37	49	39	37	38	38	33	32	36	39	456
合計	247	336	329	315	314	269	307	322	282	330	311	304	3,666
診療日数	20	21	21	21	23	18	22	21	19	19	19	20	244
1日当たり	12.4	14.7	15.7	14.3	13.7	14.9	14.0	15.3	14.8	17.8	16.3	15.0	15.0

16 薬剤部業務状況

薬剤部の業務は、調剤・注射薬調製、薬剤管理指導、薬品管理、医薬品情報管理、製剤の5部門に大別され、その内容は次に示すとおりです。近隣医療機関等との地域連携が推進に伴う外来における患者動向の変化により、平成30年度の院外処方箋枚数は前年度より1日平均20枚減少しました。本年度は薬剤師の産休・育休取得者の増加等による減員分を部全体の業務改善により補った結果、各部署において実績を伸ばすことができました。持参薬の確認・鑑別業務は前年度より約260件増加し、新たに一部の外科系診療科を対象に開始した薬剤師外来は634件/年の利用がありました。薬剤管理指導業務については、12北病棟にて病棟薬剤業務を開始したことに伴い、全体として昨年度より約1,166件増加しました。薬品管理部門では、前年度に引き続き後発医薬品への切替えを積極的に行い、後発品使用率（数量シェア）は約87%となりましたが、がん治療等における高額薬品の使用増加に伴い、薬品購入金額は前年度より約2億円の増加となりました。

(1) 調剤・注射薬調製業務

アに科別、病棟別の外来・入院処方箋枚数を示しました。外来患者数が減少したことにより、外来院外処方箋枚数は昨年度より約4,900枚減少し、外来院内処方箋枚数は昨年度より約600枚減少しました。イに月別の外来処方箋枚数と院外処方箋発行率を示しましたが、院外処方箋発行率は昨年度とほぼ同じでした。ウに持参薬確認件数を示しましたが、昨年度より約260件増加しました。エに月別、病棟別TPN調製件数を示しました。TPNの調製については、昨年度より一般病棟における調製件数は約340件減少し、NICUの調製件数は約80件増加しました。オに化学療法調製件数を示しました。外来は昨年度より約620件増加し、入院は約220件増加しました。カに月別注射箋枚数を示しました。注射箋枚数は昨年度から、約4,000枚減少しました。

ア 診療科別外来（院外・院内）処方・病棟別入院処方年間総処方箋枚数及び1日平均処方箋枚数

診療科	外来院外処方箋枚数		外来院内処方箋枚数		病棟	入院処方箋枚数	
	年間	1日平均	年間	1日平均		年間	1日平均
内科	55,265	225.6	6,344	17.3	8N	3,711	10.1
精神・神経科	16,043	65.5	460	1.3	8S	4,062	11.1
小児科	13,273	54.2	3,629	9.9	8W	569	1.6
外科	7,788	31.8	773	2.1	9N	4,378	12.0
心臓血管外科	790	3.2	2	0.0	9S	5,801	15.8
脳神経外科	1,416	5.8	104	0.3	9W	719	2.0
整形外科	11,762	48.0	1,026	2.8	10N	7,638	20.9
形成外科	719	2.9	154	0.4	10S	9,184	25.1
皮膚科	11,567	47.2	139	0.4	11N	10,121	27.7
泌尿器科	8,221	33.6	165	0.5	11S	9,766	26.7
産婦人科	5,357	21.9	59	0.2	12N	8,305	22.7
眼科	4,397	17.9	73	0.2	12S	11,309	30.9
耳鼻咽喉科	5,330	21.8	141	0.4	13N	11,181	30.5
放射線科	428	1.7	15	0.0	13S	11,452	31.3
リハビリテーション科	16	0.1	1	0.0	14N	10,325	28.2
口腔外科	4,012	16.4	22	0.1	14S	11,477	31.4
救命救急センター	628	2.6	594	1.6	ICU	1,540	4.2
					NICU	0	0.0
計	147,012	600	13,701	37	計	120,819	330

稼働日数 外来院外 245日 外来院内 365日 入院 365日

イ 平成30年度月間外来（院外・院内）処方箋枚数及び院外処方箋発行率

月別	外 来 処 方 箋 枚 数						院外処方箋発行率（注2）		
	院外処方 箋枚数	院内処方箋枚数（注1）				計			
		(A)	(B)	(C)	計		(Ⅰ)	(Ⅱ)	(Ⅲ)
平成30年 4月	11,857	232	470	371	1,073	12,930	91.7%	94.4%	98.1%
5月	12,432	231	518	373	1,122	13,554	91.7%	94.3%	98.2%
6月	12,188	219	502	380	1,101	13,289	91.7%	94.4%	98.2%
7月	12,704	220	637	397	1,254	13,958	91.0%	93.7%	98.3%
8月	12,664	240	467	375	1,082	13,746	92.1%	94.7%	98.1%
9月	11,200	149	470	358	977	12,177	92.0%	94.8%	98.7%
10月	12,750	233	454	406	1,093	13,843	92.1%	94.9%	98.2%
11月	12,145	204	474	380	1,058	13,203	92.0%	94.7%	98.3%
12月	12,397	218	597	364	1,179	13,576	91.3%	93.8%	98.3%
平成31年 1月	13,132	242	974	370	1,586	14,718	89.2%	91.5%	98.2%
2月	11,264	229	499	387	1,115	12,379	91.0%	93.9%	98.0%
3月	12,279	276	381	404	1,061	13,340	92.0%	94.9%	97.8%
計	147,012	2,693	6,443	4,565	13,701	160,713	91.5%	94.1%	98.2%

（注1）（A）：労災、自賠責扱い患者の処方、院内製剤、麻薬、治験を含む処方、特に必要と認めた患者の処方等

（B）：救急外来処方（主に夜間）

（C）：検査薬、糖尿病血糖測定紙、穿刺針、消毒綿、インスリン注入器等の処方

（注2）（Ⅰ）：院内処方せん枚数に（A）、（B）、（C）を含む

（Ⅱ）：院内処方せん枚数に（A）、（B）を含む

（Ⅲ）：院内処方せん枚数に（A）を含む

ウ 持参薬確認件数

月別 病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
14N	5	10	4	4	5	4	4	5	2	6	4	2	55
14S	8	8	11	10	11	7	9	9	5	8	0	5	91
13N	24	39	40	38	31	24	39	41	28	30	36	38	408
13S	21	22	27	30	14	20	29	23	15	17	19	21	258
12N	97	100	93	102	118	105	121	113	108	140	99	107	1,303
12S	24	29	31	27	33	20	32	30	20	33	29	23	331
11N	52	41	50	45	54	44	52	41	44	53	51	39	566
11S	44	47	54	61	56	44	60	58	44	58	53	41	620
10N	44	50	45	44	64	49	53	45	40	54	49	38	575
10S	47	52	61	74	65	46	58	60	50	64	61	63	701
9N	13	12	6	8	3	4	4	9	1	5	6	5	76
9S	1	4	5	2	0	4	2	2	1	3	4	1	29
8N	2	9	14	9	10	10	5	7	4	10	7	3	90
8S	0	1	0	1	4	2	1	1	1	2	1	4	18
ICU	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	5
合計	382	426	441	455	470	383	469	444	363	483	420	390	5,126

エ 平成30年度月別、病棟別 T P N調製件数

月別 病棟	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
8S													
9N													
10N													
10S													
11N	15	10	4	38	13	24	73	67	66	13	2		325
11S	3	1	22	38	16	1	2	21	58	6	21	18	207
12N			2	15	6							3	26
12S			6			25	8					29	68
13N	3			17	3	19	18	25	4		4		93
13S	1				2		9	1	11	13	2	8	47
14N	5	10	31		8	29	4			11	2	1	101
14S	24	8		2			9		5	7	1		56
ICU	34	2	3	8		7		3		2	13	7	79
TPN計	85	31	68	118	48	105	123	117	144	52	45	66	1,002
NICU	38	45	26	21	52	10	20	31	26	80	43	25	417
合計	123	76	94	139	100	115	143	148	170	132	88	91	1,419

オ 平成30年度月別、外来（診療科）・入院（診療科・臓器別）化学療法調製件数

診療科 ・入院（臓器別）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	115	176	148	142	136	119	133	133	138	148	134	139	1,661
外科	88	116	131	114	120	103	124	118	96	126	118	109	1,363
脳神経外科	7	8	9	8	5	7	6	7	6	8	6	9	86
産婦人科	11	12	14	12	14	11	16	29	16	14	6	4	159
泌尿器科	11	17	17	30	19	25	22	32	23	31	34	28	289
耳鼻咽喉科	8	5	7	8	9	6	8	8	4	7	11	11	92
泌尿器科膀胱	0	1	5	2	4	1	1	1	0	0	3	9	27
エンドキサンパルス	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
外来合計	240	335	332	316	307	272	310	328	283	334	312	309	3,678
造血器	33	18	39	63	31	32	44	35	29	24	47	15	410
肺	80	94	80	77	92	87	94	79	81	79	74	69	986
食道	27	16	18	15	19	19	15	9	14	14	13	12	191
胃	8	5	5	6	3	2	1	1	2	5	3	3	44
膵	6	7	1	7	32	2	6	6	18	23	10	8	126
胆肝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳腺	6	2	1	0	1	4	1	1	2	5	1	1	25
大腸	2	3	1	3	4	5	1	0	1	2	2	1	25
脳外	3	1	2	4	2	0	6	4	3	2	2	0	29
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産婦人科	15	13	13	20	18	11	23	15	22	13	12	9	184
泌尿器科	17	12	8	15	20	14	16	13	8	17	14	19	173
耳鼻科	20	14	3	17	5	26	21	3	13	39	30	19	210

歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エンドキサンパルス	0	1	0	1	1	3	1	2	3	0	0	1	13
その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
入院合計	217	186	171	228	228	205	230	168	196	223	208	157	2,417
総合計	457	521	503	544	535	477	540	496	479	557	520	466	6,095

カ 平成30年度月別注射箋枚数（入院）

月別	注射箋枚数
4月	14,296
5月	13,621
6月	13,495
7月	14,834
8月	15,754
9月	12,744
10月	13,788
11月	13,476
12月	13,853
1月	14,807
2月	13,386
3月	13,314
合計	167,368

(2) 薬剤管理指導業務

平成30年度は、指導患者数4,260人（前年比17.2%増）、算定件数5,992件（前年比24.2%増）となりました。算定件数増加の要因は病棟薬剤業務（1病棟）を実施したことによる影響が大きいと考えられます。当該病棟において、主診療科である泌尿器科は前年比673.1%、その他眼科381.4%、耳鼻咽喉科424.6%、歯科口腔外科201.8%と大幅な増加となりました。

診療科別・病棟別年間指導対象患者数及び薬剤管理指導件数

診療科	患者数	薬剤管理 指導件数	病棟	患者数	薬剤管理 指導件数
内科	1,499	2,023	8N	9	11
精神・神経科	9	12	8S	4	3
小児科	3	3	9N	7	10
外科	317	389	9S	2	2
心臓血管外科	10	12	9W	2	2
脳神経外科	8	10	10N	240	271
整形外科	330	387	10S	314	382
形成外科	8	8	11N	183	218
皮膚科	64	84	11S	197	237
泌尿器科	1,006	1,474	12N	1,953	3,074
産婦人科	199	238	12S	206	281
眼科	206	225	13N	391	497
耳鼻咽喉科	488	985	13S	282	378
歯科口腔外科	88	115	14N	213	284
救急科	25	27	14S	255	340
			ICU	2	2
計	4,260	5,992	計	4,260	5,992

(3) 薬剤師外来業務

平成30年4月から泌尿器科及び整形外科において、手術及び検査のため入院予定となった患者様を対象に服用している薬剤の事前把握を主な目的とした薬剤師外来を開始しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
泌尿器科	42	62	54	71	65	45	54	40	52	39	46	37	607
整形外科			4	1	2	3	2	7	1	3	2	2	27
計	42	62	58	72	67	48	56	47	53	42	48	39	634

(4) 薬品管理業務

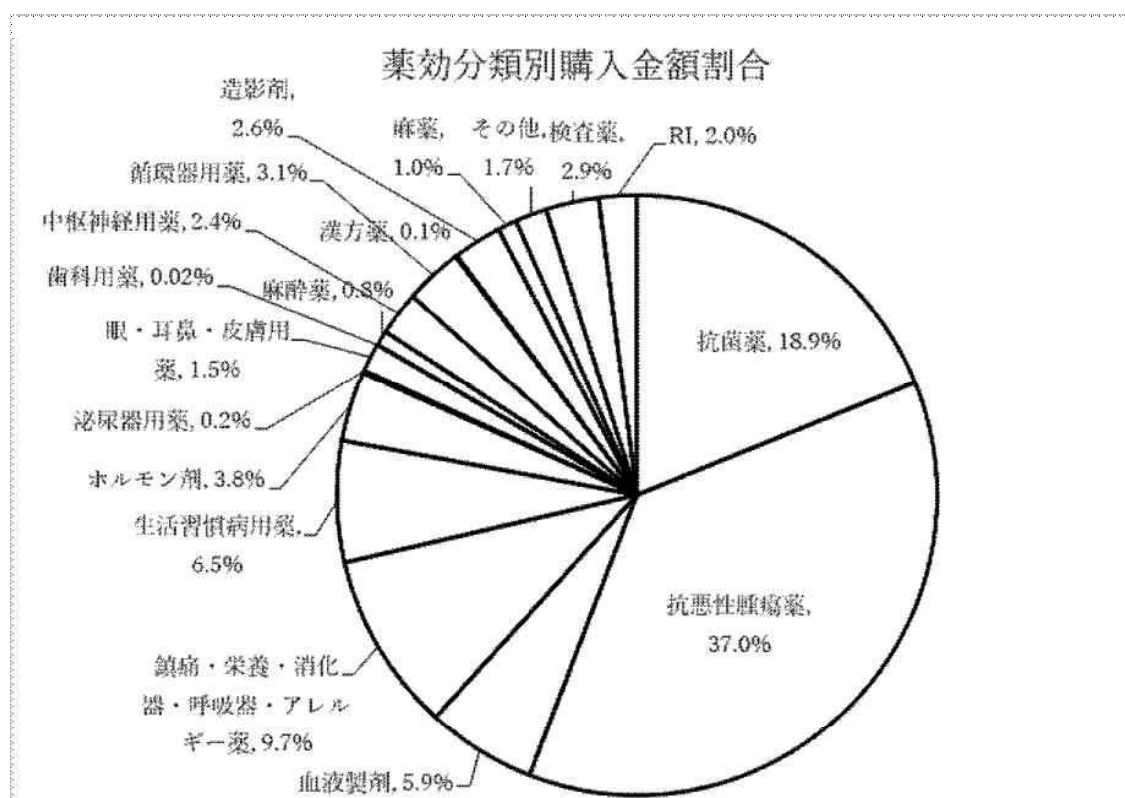
薬品購入金額は昨年度に比べ約8.9%、金額にして約2億円の増加となりました。先発医薬品から後発医薬品への変更による減額効果以上に、新規抗がん剤、放射性薬品、抗体製剤などの高額医薬品の購入費が増加しており、ここ数年増加の一途をたどっています。

〔薬品使用状況〕

ア 区分別使用割合

区 分	比 率 (%)	区 分	比 率 (%)
内 服 用 薬 品	14.65	そ の 他 薬 品	0.72
注 射 用 薬 品	74.05	麻 薬	1.03
外 用 薬 品	1.94	血 液	2.70
検 査 薬 品	2.87	放 射 性 薬 品	2.04

イ 薬効分類別購入金額割合



ウ 採用医薬品における後発医薬品の割合

平成30年度の後発医薬品採用率及び使用率は、次のとおりでした。

採用薬品数	先発医薬品	後発医薬品	合計	後発医薬品 採用率 (品目シェア)
	989	450	1,439	31.27%
入院使用数量	先発医薬品 (後発の発売があるもの)	後発医薬品	合計	後発医薬品 使用率 (数量シェア)
	367,049	2,520,294	2,887,343	87.29%
外来使用数量	先発医薬品 (後発の発売があるもの)	後発医薬品	合計	後発医薬品 使用率 (数量シェア)
	27,406	198,968	226,374	87.89%

(5) 医薬品情報管理業務

日本病院薬剤師会への薬剤師介入事例報告（プレアボイド報告）は、昨年度の216件から234件に増加し高い報告数を維持しています。

平成30年度月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
プレアボイド報告 (様式1)	1			1	3	1							6
プレアボイド報告 (様式2)	27	17	14	27	21	13	10	10	18	14	10	15	196
プレアボイド報告 (様式3)	4	3	2		6	7	3	2	3	1	1		32

様式1：重篤化等回避報告
 様式2：未然回避報告
 様式3：薬物治療効果の向上

(6) 製剤業務

当院では、市販品又は同等の市販品への切替えを推進し、院内製剤品目は必要最小限としています。製剤総量は昨年度と同程度でした。

主な製剤総量(平成30年4月～平成31年3月)

薬品名	規格	数量	薬品名	規格	数量
3%亜硝酸ナトリウム注射剤	10mL	5	0.0005%SADBE アセトン	50mL	1
5%フェノール注射液	5mL	0	ZENTEL	30mL	4
8倍イソジン洗眼液	100mL	0	2%グリセリンカリ石鹼洗腸	3000mL	0
6倍PAヨード洗顔液	50mL	440	2.5%酢酸	100mL	25
塩酸エピネフリン0.03%	50mL	699	2.5%酢酸	500mL	47
滅菌エピネ・キシロ1:1	50mL	58	30%酢酸	8000mL	46
滅菌オリブ油	20mL	56	3%硝酸銀液	10mL	46
滅菌グリセリン	30mL	14	20%硝酸銀液	20mL	2
脱気水	1000mL	74	精製水	3000mL	46
滅菌ハイアミン0.025%	100mL	380	精製水	10000mL	8
滅菌ハイアミン0.01%	100mL	85	生理食塩水	10000mL	116
滅菌ハイアミン0.01%	500mL	49	1%外用ピオクタニン	500mL	0
滅菌ピオクタニン2%	10mL	350	皮膚インキ	120mL	1
滅菌テーカイン液0.3%	50mL	40	ボドフィリンチンキ	50mL	0
滅菌テーカ・エピネ1:1	50mL	53	2%ホルマリンアルコール	500mL	5
リファンピシン液0.2%	500mL	4	5%内服用ルゴール	500mL	8
1.2%口腔外科用ルゴール	100mL	28	1%内服用ルゴール	100mL	6
0.5%硫酸アトロピン点眼液	5mL	6	1.2%ルゴール液	500mL	8
0.25%硫酸アトロピン点眼液	5mL	8	0.8%ルゴール液	500mL	13
1%塩酸点眼液	5mL	0	5%イオウ軟膏	100g	0
4%キシロカイン点眼液 分注	5mL	112	水性ゲル	450mL	3
20%血清点眼液	5mL	18	5%チンクレスタミンクリーム	100g	17
4倍希釈デスマプレシン点鼻液	4.8mL	15	2%ハイドロキノン	10g	35
ナシピン点鼻液 分注	10mL	15	5%ハイドロキノン	10g	54
プリピナ点鼻液 分注	10mL	6	パッチテスト	5g	0
ローズベンガル点眼1%	50mL	0	0.2%ポリミキシン軟膏	300g	6
γ-BHC ローション	500mL	1	モース氏ペースト	100g	1
2%SADBE アセトン	50mL	13	0.1%レチノイン酸	10g	44
1%SADBE アセトン	50mL	12	0.2%レチノイン酸	10g	35
0.1%SADBE アセトン	50mL	13	チラーゼンS坐薬	個	159
0.01%SADBE アセトン	50mL	3	プラセボ坐剤	個	0
0.001%SADBE アセトン	50mL	3			

平成30年度年間製剤総数量

滅菌、無菌を要する製剤		滅菌を要しない製剤	
注 射 剤	0 本	内・外用液剤	1,821 L
点眼薬・点鼻薬等	165 本	軟 膏 剤	2 kg
そ の 他	219 L	坐 薬	159 個

(7) 薬学生実務実習受入状況

平成30年度の受入人数は、慶應義塾大学2名、帝京大学2名、星薬科大学2名、横浜薬科大学2名の計8名でした。

17 放射線診断科・放射線治療科業務状況

平成30年度は、年度当初4月からPET-CTの稼働が始まりました。川崎市南部地区では初めての導入ということで、当院の患者のみならず、井田病院をはじめ、近隣の病院からも利用していただくため、院外からの検査受入を前提に患者総合サポートセンターと連携しながら進めてきました。併せて、核医学専門の常勤放射線診断医が1名配置となりました。初年度600件を目標に院内広報と併せ、井田病院、近隣の病院への広報活動・訪問を行い結果として平成30年度は590件の検査数となりました。

PET-CT 検査に関しては、院外からの検査依頼増をめざし、患者総合サポートセンターと協力し近隣の病院から依頼し易い環境や検査結果システムの改良を進めてまいります。

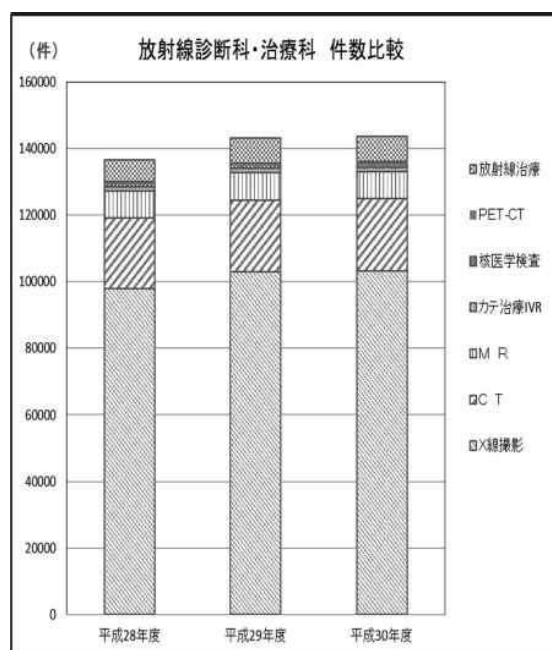
放射線科業務の前年度比は、X線撮影・CT・MR・放射線治療がほぼ横ばい、カテーテル治療・IVRと核医学検査が前年度比それぞれ「0.88」と減少しています。ただし核医学については、PET-CTとの合計で前年度比「1.30」となります。

放射線治療は、件数で前年度比「0.99」とほぼ同数ですが、時間外も稼働しての件数であり、装置性能と稼働時間を考慮すると現在の件数が最大と考えられ、件数増と時間外対策の両面から、より短時間治療が可能な装置の更新が必要と考えています。

稼働状況については、引き続き効率的な運用を目指してまいります。

3次救急を行っている当院では、放射線技師1名の夜勤は業務量的に厳しく、緊急IVR等が入った場合、夜勤以外の技師を呼び出して対応しています。この状況を改善する為、夜勤複数名体制の整備に向けて検討を進めてまいります。

	件 数			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度比
X線撮影	97,818	102,862	103,105	1.00
C T	21,321	21,670	21,932	1.01
M R	8,070	8,226	8,098	0.98
カテーテル 治療・IVR	1,253	1,366	1,205	0.88
核医学検査	1,443	1,387	1,215	0.88
P E T - C T			590	
放射線治療	6,594	7,534	7,468	0.99
合 計	136,499	143,045	143,613	1.00



(1)撮影部門

検査種別	部位分類	集計区分	内科	精神科	小児科	外科	心臓血管外科	脳神経外科	整形外科	形成外科
一般 単純撮影	頭部・頸部系	単純	54	2	211	1	0	186	4	11
	胸部系	単純	21,064	147	1,543	5,612	910	228	1,072	80
	腹部系	単純	2,952	105	208	3,368	3	63	12	1
	椎体系	単純	331	2	75	18	0	10	4,540	1
	胸郭系	単純	158	0	4	4	0	1	2,068	0
	骨盤系	単純	93	2	8	9	0	0	3,692	0
	上肢系	単純	849	0	133	12	0	1	7,332	3
	下肢系	単純	1,029	1	17	11	0	0	5,618	14
	歯科	単純	0	0	1	0	0	0	2	0
	その他	単純	0	0	0	0	0	0	0	0
一般単純撮影合計			26,530	259	2,200	9,035	913	489	24,340	110
ポータブル	頭・頸部系(P)	単純	1	0	0	0	0	4	0	0
	胸部系(P)	単純	6,595	106	821	1,369	22	80	67	1
	腹部系(P)	単純	1,162	38	4	965	2	8	7	1
	椎体系(P)	単純	3	0	0	1	0	0	23	0
	胸郭系(P)	単純	4	0	0	0	0	0	7	0
	骨盤系(P)	単純	7	0	6	4	0	1	27	0
	上肢系(P)	単純	8	0	34	0	0	1	20	0
	下肢系(P)	単純	8	1	2	0	0	0	42	1
	その他(P)	単純	0	0	0	0	0	0	0	0
ポータブル合計			7,788	145	867	2,339	24	94	193	3
手術室 ポータブル	頭部・頸部系(O)	単純	0	0	0	5	0	0	0	0
	胸部系(O)	単純	5	0	0	213	1	2	15	1
	腹部系(O)	単純	6	0	2	339	1	0	2	0
	椎体系(整形)(O)	単純	0	0	0	0	0	0	450	0
	躯幹系(整形)(O)	単純	0	0	0	0	0	0	374	0
	上肢系(整形)(O)	単純	0	0	0	0	0	0	284	0
	下肢系(整形)(O)	単純	0	0	0	1	0	0	361	0
手術室ポータブル合計			11	0	2	558	2	2	1,486	1
乳房撮影			0	0	0	733	0	0	0	0
一般造影	婦人科系	造影	0	0	0	0	0	0	0	0
	泌尿器科系	造影	0	0	0	0	0	0	0	0
	外科系	造影	2	0	0	0	0	0	0	0
	耳鼻科系	造影	0	0	0	0	0	0	0	0
	整形外科系	造影	0	0	0	0	0	0	0	0
一般造影合計			2	0	0	0	0	0	0	0
透視検査	上部消化管	造影	15	0	0	78	0	1	0	0
	下部消化管	造影	14	0	1	52	0	0	0	0
	消化管その他	造影	72	0	1	183	0	0	0	0
	肝・胆道・膵臓	造影	43	0	0	22	0	0	0	0
	腎臓	造影	0	0	0	0	0	0	0	0
	尿管	造影	0	0	0	0	0	0	0	0
	膀胱、尿道、その他	造影	0	0	0	1	0	0	0	0
	婦人科	造影	0	0	0	0	0	0	0	0
	脊椎、椎体	造影	0	0	0	0	0	0	321	0
	整形系その他	造影	0	0	0	0	0	0	19	0
	小児科	造影	0	0	28	1	0	0	0	0
	その他	造影	42	0	0	26	0	0	0	0
透視検査合計			186	0	30	363	0	1	340	0
透視下 内視鏡	呼吸器系	単純	192	0	0	13	0	0	0	0
	上部消化管系	単純	13	0	0	2	0	0	0	0
	下部消化管系	単純	10	0	0	6	0	0	0	0
	肝臓・胆嚢・膵臓系	造影	233	0	0	37	0	0	0	0
透視下内視鏡合計			448	0	0	58	0	0	0	0
骨塩定量			206	0	20	116	0	0	354	0
結石破砕			16	0	0	0	0	0	0	0
救急室 単純撮影	頭部・頸部系(ER)	単純	44	0	5	1	0	3	0	0
	胸部系(ER)	単純	2,003	1	551	129	0	8	40	0
	腹部系(ER)	単純	902	1	125	94	0	0	1	1
	椎体系(ER)	単純	20	0	2	0	0	0	91	0
	胸郭系(ER)	単純	22	2	0	4	0	1	108	1
	骨盤系(ER)	単純	10	1	1	1	0	0	34	1
	上肢系(ER)	単純	10	0	0	0	0	3	381	3
	下肢系(ER)	単純	34	0	6	4	0	2	317	6
救急室単純撮影合計			3,045	5	690	233	0	17	972	12
合 計			38,232	409	3,809	13,435	939	603	27,685	126

皮膚科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻科	放射線科	歯科口腔外科	リハビリ	救急科	麻酔科	体検	合計(件数)
2	0	0	0	140	0	1,951	0	2	0	0	2,564
142	972	1,038	14	504	13	106	0	181	0	1,239	34,865
0	1,646	91	0	18	1	1	0	16	0	0	8,485
0	0	4	1	13	205	0	0	10	0	0	5,210
0	1	0	0	0	0	0	0	10	0	0	2,246
3	1	41	2	2	0	2	0	23	0	0	3,878
7	0	0	0	0	1	0	2	30	0	0	8,370
6	4	0	2	0	2	0	0	16	0	0	6,720
0	0	0	0	1	0	470	0	0	0	0	474
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
160	2,624	1,174	19	678	222	2,530	2	288	0	1,239	72,812
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
36	166	131	0	63	2	1	0	878	39	0	10,377
2	118	1	0	6	0	0	0	84	1	0	2,399
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27
0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	12
0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	48
0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	65
2	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	68
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40	284	132	0	69	2	1	0	980	40	0	13,001
0	0	0	0	29	0	3	0	0	0	0	37
0	10	0	0	31	2	0	0	5	5	0	290
0	217	391	0	3	0	0	0	2	0	0	963
0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	451
0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	384
0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	287
0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	365
0	227	391	0	63	2	3	0	23	6	0	2,777
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	431	1,164
0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	12
0	0	0	0	19	0	0	486	0	0	84	683
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	67
0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	258
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	65
0	81	0	0	0	0	0	0	0	0	0	81
0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
0	99	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100
0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	16
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	321
0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	24
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29
0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	69
0	187	16	0	21	0	0	486	5	0	84	1,719
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	205
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	270
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	506
1	1	53	0	0	219	0	0	0	0	13	983
0	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51
0	0	0	0	2	0	0	0	15	0	0	70
3	18	12	0	29	1	1	0	3,037	3	0	5,836
0	23	4	0	1	0	0	0	307	0	0	1,459
0	1	0	0	0	0	0	0	152	0	0	266
0	0	0	0	0	0	0	0	164	1	0	303
0	1	0	0	0	0	0	0	445	0	0	494
3	0	0	0	0	0	0	0	339	2	0	741
0	0	0	2	0	0	0	0	540	0	0	911
6	43	16	2	32	1	1	0	4,999	6	0	10,080
207	3,401	1,792	21	863	446	2,535	488	6,295	52	1,767	103,105

(2)CT部門

部位分類	集計区分	内科	精神科	小児科	外科	心臓血管外科	脳神経外科	整形外科	形成外科	皮膚科
頭部系CT	単純	1,077	72	30	16	1	1,025	13	33	1
	造影	6	0	0	2	0	0	0	0	0
	単純+造影	14	0	0	5	0	2	0	2	0
頭部系CT	単純	9	0	0	1	0	0	0	2	0
	造影	3	0	5	1	0	0	0	0	0
	単純+造影	4	0	0	0	0	0	0	2	0
胸部系CT	単純	2,136	1	5	613	79	0	15	11	6
	造影	1,128	1	7	1,129	31	2	6	0	18
	単純+造影	446	2	0	906	3	2	3	0	1
腹部系CT	単純	196	0	0	140	0	1	1	0	0
	造影	95	1	9	57	0	0	5	0	0
	単純+造影	798	0	1	115	0	1	5	0	0
骨盤系CT	単純	4	0	0	0	0	0	125	0	0
	造影	0	0	0	1	0	0	2	1	0
	単純+造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0
四肢系CT	単純	4	0	0	1	0	0	636	12	2
	造影	0	0	0	0	0	0	0	4	0
	単純+造影	0	0	0	0	0	0	2	0	0
脊椎系CT	単純	6	0	1	0	0	0	305	0	0
	造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	単純+造影	0	0	0	0	0	0	1	0	0
血管系CT	単純	4	0	0	12	2	0	0	0	1
	造影	113	1	0	273	29	3	6	1	1
	単純+造影	192	0	2	34	2	121	5	1	0
その他のCT	単純	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	単純+造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	単純	3,436	73	36	783	82	1,026	1,095	58	10
	造影	1,345	3	21	1,473	60	5	19	6	19
	単純+造影	1,454	2	3	1,060	5	126	16	5	1
合 計		6,235	78	60	3,316	147	1,157	1,130	69	30

救急室CT

部位分類	集計区分	内科	精神科	小児科	外科	心臓血管外科	脳神経外科	整形外科	形成外科	皮膚科
頭部系CT	単純	616	4	113	19	0	51	9	16	2
	造影	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	単純+造影	1	0	1	0	0	0	0	0	0
頭部系CT	単純	14	0	0	0	0	0	1	0	0
	造影	6	0	0	0	0	0	0	0	1
	単純+造影	14	0	0	0	0	0	0	0	0
胸部系CT	単純	291	0	1	9	0	0	7	0	1
	造影	10	0	0	5	0	0	0	0	0
	単純+造影	60	0	0	13	0	0	1	0	0
腹部系CT	単純	185	0	1	15	0	0	3	0	0
	造影	42	0	11	9	0	0	0	0	0
	単純+造影	403	0	7	56	0	0	1	1	0
脊椎系CT	単純	2	0	0	0	0	0	3	0	0
	造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	単純+造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0
四肢系CT	単純	2	0	1	1	0	0	37	0	0
	造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	単純+造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血管系CT	単純	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	造影	25	0	0	19	0	0	3	0	2
	単純+造影	27	0	0	2	0	0	0	0	0
全身系CT	単純	63	0	0	37	0	0	0	0	0
	造影	16	0	0	3	0	0	0	0	0
	単純+造影	41	0	0	1	0	0	0	0	0
小計	単純	1,172	4	116	44	0	51	60	16	3
	造影	101	0	11	36	0	0	3	0	3
	単純+造影	546	0	8	72	0	0	2	1	0
合計		1,819	4	135	152	0	51	65	17	6

CT+救急室CT	内科	精神科	小児科	外科	心臓血管外科	脳神経外科	整形外科	形成外科	皮膚科
合 計	8,054	82	195	3,468	147	1,208	1,195	86	35

(3)MRI部門

部位分類	集計区分	内科	精神科	小児科	外科	心臓血管外科	脳神経外科	整形外科	形成外科	皮膚科
頭部系	単純	1,393	66	247	9	2	381	4	0	0
	造影	504	0	7	55	0	471	0	0	0
	単純+造影	1	0	0	0	0	0	5	2	3
顔面・頭部系	単純	3	0	0	0	0	1	3	0	0
	造影	4	0	0	58	2	0	0	1	4
	単純+造影	5	0	0	354	0	0	2	0	0
胸部系	単純	518	0	1	114	0	0	0	1	2
	造影	95	0	0	44	0	0	0	0	0
	単純+造影	21	0	4	13	0	0	9	3	1
骨盤系	単純	4	0	0	11	0	0	4	0	0
	造影	7	0	0	0	0	343	7	0	5
	単純+造影	1	0	0	0	0	8	2	0	0
上肢系	単純	20	0	5	4	0	0	407	4	7
	造影	2	0	0	0	0	0	9	0	1
	単純+造影	353	1	18	7	1	1	1,004	0	0
下肢系	単純	19	0	5	2	0	7	15	0	0
	造影	5	0	0	32	0	14	0	0	0
	単純+造影	4	0	0	0	0	0	1	0	0
血管系	単純	2,331	68	279	237	5	396	1,775	19	22
	造影	637	0	13	467	0	479	41	3	1
	単純+造影	2,968	68	292	704	5	875	1,816	21	23
合 計		2,968	68	292	704	5	875	1,816	21	23

泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻科	放射線科	歯科口腔外科	リハビリ	救急科	麻酔科	体检	合計(件数)
8	6	20	215	9	425	1	503	0	50	3,505
0	0	1	11	0	5	0	4	0	0	29
0	0	0	7	0	8	0	1	0	0	39
0	0	0	28	0	6	0	5	0	0	51
0	0	0	79	0	14	0	6	0	1	109
0	0	0	59	1	5	0	1	0	0	72
233	33	0	49	88	4	1	17	0	7	3,298
422	298	0	212	10	3	0	4	0	4	3,275
146	23	0	57	26	0	0	5	0	3	1,623
163	4	0	1	17	0	0	1	0	4	528
31	12	0	0	3	0	0	4	0	3	230
138	8	0	1	14	0	0	4	0	3	1,088
1	0	0	0	0	0	0	4	0	2	136
1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	7
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	2	0	5	662
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
0	0	0	0	6	0	0	0	0	2	320
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19
5	15	0	0	0	0	0	2	0	2	451
0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	358
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
405	43	20	293	120	435	2	532	0	70	8,519
459	326	1	302	13	22	0	20	0	11	4,105
284	31	0	125	41	13	0	11	0	6	3,183
1,148	400	21	720	174	470	2	563	0	87	15,907

泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻科	放射線科	歯科口腔外科	リハビリ	救急科	麻酔科	体检	合計(件数)
3	1	3	12	0	0	0	1,897	3	0	2,748
0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3
0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	5
0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	22
0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	11
0	0	0	0	0	1	0	7	0	0	22
3	1	0	0	0	0	0	470	0	0	783
0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	27
0	0	0	0	0	0	0	67	0	0	141
10	2	0	0	0	0	0	181	0	0	397
1	0	0	0	0	0	0	14	0	0	77
2	4	0	0	0	0	0	190	0	0	664
0	0	0	0	0	0	0	18	0	0	23
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	87	0	0	128
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	3	0	0	0	0	0	59	0	0	111
0	0	0	0	0	0	0	88	0	0	117
0	0	0	0	0	0	0	466	0	0	529
0	0	0	4	0	0	0	166	0	0	189
0	0	0	0	0	0	0	86	0	0	128
16	4	3	12	0	0	0	3,126	3	0	4,630
1	3	0	7	0	0	0	253	0	0	418
2	4	0	0	0	1	0	441	0	0	1,077
19	11	3	19	0	1	0	3,820	3	0	6,125

泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻科	放射線科	歯科口腔外科	リハビリ	救急科	麻酔科	体检	合計(件数)
1,167	411	24	739	174	471	2	4,383	3	87	21,932

泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻科	放射線科	歯科口腔外科	リハビリ	救急科	麻酔科	体检	合計(件数)
0	2	7	101	29	0	0	76	0	0	2,317
1	1	0	14	2	0	0	0	0	0	1,055
0	0	6	41	1	11	0	2	0	0	82
0	0	0	47	1	20	0	0	0	0	75
0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	74
1	0	0	0	9	0	0	0	0	0	371
18	0	0	4	2	0	0	0	0	0	690
18	0	0	1	0	0	0	0	0	0	158
118	459	0	0	23	0	0	0	0	0	651
58	100	0	0	1	0	0	0	0	0	178
0	0	0	0	25	0	0	1	0	0	392
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
0	0	0	0	15	0	0	5	0	0	467
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
1	0	0	1	72	0	0	27	0	0	1,486
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	49
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
197	461	13	147	172	11	0	111	0	0	6,183
78	101	0	62	13	20	0	0	0	0	1,915
215	562	13	209	185	31	0	111	0	0	8,098

(4)核医学部門

	内科	精神科	小児科	外科	心臓血管外科	脳神経外科	整形外科	形成外科	皮膚科	泌尿器科
脳	186	15	4	0	0	13	0	0	0	0
唾液腺	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
甲状腺	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0
副甲状腺	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肺	10	0	0	3	0	0	0	0	0	0
肝・胆道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脾臓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
循環器	121	0	0	3	0	0	0	0	0	0
血流動態	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腎	0	0	10	0	0	0	0	0	0	3
副腎	6	0	0	0	0	0	0	0	0	5
消化管	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
骨	333	0	0	210	0	2	1	0	1	135
腫瘍	16	0	1	0	0	0	0	0	1	0
骨髄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リンパ	0	0	0	65	0	0	0	0	0	0
神経内分泌腫瘍	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
RI内用療法	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
合 計	690	15	16	282	0	15	1	0	2	152

PET-CT

部位分類	内科	精神科	小児科	外科	心臓血管外科	脳神経外科	整形外科	形成外科	皮膚科	泌尿器科
頭部-骨盤	164	0	0	126	0	5	1	1	3	5
全身	5	0	0	1	0	0	0	0	5	0
血管炎	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心サルコイドーシス	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自費検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
井田病院人間ドッグ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	182	0	0	127	0	5	1	1	8	5

(5)カテーテル治療・IVR

	内科	外科	心外科	脳外科	放射線科	その他	合計
心臓系	心カテ	380	0	0	0	0	380
	PCI	232	0	0	0	0	232
	ペースメーカー	7	0	54	0	0	61
	その他	2	0	4	0	0	6
	心臓系 小計	621	0	58	0	0	679
頭頸部・一般血管	頭頸部血管診断				60		60
	頭頸部血管IVR				22		22
	頭頸部血管 小計	0	0	0	82	0	82
	胸腹部診断			0	0	16	16
	四肢・血管系診断		0	0	0	20	20
	一般血管診断 小計	0	0	0	0	36	36
	胸腹部IVR		4	0		105	109
	四肢・血管系IVR		202	0		3	205
	一般血管IVR 小計	0	206	0	0	108	314
	血管以外の検査・治療					67	67
	その他		0		18	9	27
合 計		621	206	58	100	220	1,205

(6)画像データ・フィルム画像の入出力件数

	入出カデバイス名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度比
入 力	フィルム	252	220	201	0.91
	CD(医事課)	4,308	4,494	4,674	1.04
	入力合計	4,560	4,714	4,875	1.03
出 力	フィルム	366	375	396	1.06
	CD-R	2,472	2,677	2,781	1.04
	DVD	417	578	621	1.07
	出力合計	3,255	3,630	3,798	1.05
	総合計	7,815	8,344	8,673	1.04

(7)CT 画像処理件数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度比
3D画像	1,228	1,446	1,575	1.09
心臓解析	173	162	169	1.04
デンタル解析	407	448	435	0.97
合計	1,808	2,056	2,179	1.06

産婦人科	眼科	耳鼻科	放射線科	歯科口腔外科	リハビリ	救急科	麻酔科	体検	合計(件数)
0	0	14	0	0	0	1	0	0	233
0	0	0	0	3	0	0	0	0	7
0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
0	0	1	0	0	0	0	0	0	7
0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	124
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
0	0	0	21	2	0	0	0	0	705
0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	65
0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
0	0	15	21	5	0	1	0	0	1,215

産婦人科	眼科	耳鼻科	歯科口腔外科	放射線科	リハビリ	救急科	麻酔科	体検	合計(件数)
20	0	92	3	57	0	0	0	0	477
1	0	0	0	77	0	0	0	0	89
0	0	0	0	3	0	0	0	0	9
0	0	0	0	3	0	0	0	0	10
0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
21	0	92	3	140	0	0	0	0	590

(8) 放射線治療部門

リニアック部位件数

部位	件数
脳	440
眼窩	4
副鼻腔	16
口腔・舌	28
頸部	1,068
その他	26
肺	741
食道	281
乳房	1,447
頸骨部	234
腋窩・胸壁	298
その他	
縦隔	324
腹部	113
その他	
全骨盤	447
小骨盤	1,171
縦経・腎・外陰部	29
その他	51
上肢(軟部)	20
下肢(軟部)	38
その他	
頭部骨	
胸部骨	109
腹部・骨盤部骨	104
脊椎	379
上肢骨	10
下肢骨	39
その他	
上肢関節	
下肢関節	
全身	1
リハビリ	46
その他	6
合 計	7,415

治療計画CT件数

		外来	入院	合計
頭部	単純	28	55	83
	造影	1	4	5
	単+造	1	7	8
頭部集計		30	66	96
副鼻腔	単+造	0	1	1
		0	1	1
頭部集計		0	1	1
頸部	単純	23	6	29
	造影	5	7	12
	単+造	8	5	13
頸部集計		36	18	54
肺・縦隔	単純	73	27	100
	造影	4	2	6
	単+造			
肺・縦隔集計		77	29	106
乳房	単純	61		61
	単+造	1		1
乳房集計		62	0	62
上腹部	単純	7	2	9
	単+造	0	1	1
上腹部集計		7	3	10
骨盤腔	単純	54	15	69
	単+造	2	0	2
骨盤腔集計		56	15	71
股関節	単純	1	3	4
	単+造	1	3	4
股関節集計		2	6	8
頸椎	単純	1	1	2
	単+造	1	1	2
頸椎集計		2	2	4
胸椎	単純	7	7	14
	単+造	7	7	14
胸椎集計		14	14	28
腰椎	単純	0	4	4
	単+造	0	4	4
腰椎集計		0	8	8
上肢	単純	1	1	2
	単+造	1	1	2
上肢集計		2	2	4
下肢	単純	1	0	1
	単+造	1	0	1
下肢集計		2	0	2
その他	単純	2	1	3
	単+造	2	1	3
その他集計		4	2	6
小計	単純	259	122	381
	造影	10	13	23
	単+造	12	13	25
合 計		281	148	429

リニアック特殊放射線治療件数

区分	件数
頭頸部	807
骨盤部	339
画像誘導放射線治療(IGRT)	1,696
脳定位放射線治療	211
肺定位放射線治療	65
合 計	3,718

放射線治療管理料件数

区分	件数
1門照射・対向2門照射	43
非対向2門・3門照射	49
4門照射以上	221
強度変調放射線治療(IMRT)	51
放射線治療専任加算	295
合 計	659

(9) 使用造影剤

造影剤	規格	平成29年度	平成30年度	前年度比
ガストログラフィン	100ml	363	353	0.97
バリテスターA240散	350g	180	120	0.67
ホーステール	250ml	440	580	1.32
EOB・プリモビスト注シリンジ	10ml	105	110	1.05
イオパミロン注300	50ml	120	75	0.63
	100ml	158	105	0.66
イオパミロン注300シリンジ	50ml	75	25	0.33
	100ml	1,815	815	0.45
イオパミロン注370	20ml	315	290	0.92
	50ml	40	45	1.13
	100ml	666	552	0.83
イオパミロン注370シリンジ	100ml	405	570	1.41
イオメロン300注	50ml	320	340	1.06
	100ml	205	200	0.98
オイパロミン300注シリンジ	100ml	2,575	2,515	0.98
オイパロミン370注シリンジ	100ml	200	445	2.23
オムニパーク140注	50ml	45	40	0.89
オムニパーク300注	10ml	220	275	1.25
	80ml	850	815	0.96
	100ml	2,565	3,476	1.36
	150ml	135	175	1.30
ウログラフィン注	20ml	705	874	1.24
バイステージ注370	50ml	60	70	1.17
	100ml	495	445	0.90
ガドピスト静注1.0ml/Lシリンジ	7.5ml	375	375	1.00
マグネピストシリンジ	15ml	0	0	-
プロハンス静注シリンジ	13ml	432	515	1.19
マグネスコブ静注38%シリンジ	15ml	750	735	0.98
リビオドル480注	10ml	100	70	0.70
ネオダルムゾル	400ml	24	36	1.50
リゾピスト注 44.6mg Fe	1.6ml	1	0	0.00
オムニスキャンシリンジ	10ml	0	0	-

(10) 放射性医薬品

	平成29年度 入荷量(MBq)	平成30年度 入荷量(MBq)	前年度比
⁹⁹ Mo- ^{99m} Tcジェネレータ	0	6650	
⁸¹ Rb- ^{81m} Krジェネレータ	0	185	
^{99m} Tc-pertechnetate	31080.0	30340.0	0.98
^{99m} Tc-HSA-D	0.0	0.0	
^{99m} Tc-ECD	58800.0	47400.0	0.81
^{99m} Tc-MAQ ₃	1554.0	1110.0	0.71
^{99m} Tc-MDP	589780.0	515780.0	0.87
^{99m} Tc-HMDP	0.0	2960.0	
^{99m} Tc-MIBI	3330.0	2590.0	0.78
^{99m} Tc-tetrofosmin	69412.0	109816.0	1.58
²⁰¹ TlCl	1480.0	1887.0	1.28
⁶⁷ Ga-citrate	1332.0	1998.0	1.50
¹²³ I-MIBG	6882.0	2442.0	0.35
¹²³ I-BMIPP	555.0	333.0	0.60
¹²³ I-capsule	0.0	0.0	
¹³¹ I-adosterol	0.0	111.0	
¹¹¹ In-DTPA	777.0	518.0	0.67
¹²³ I-ioflupane	25384.0	21209.0	0.84
²²³ Ra-xofigo	258.7	55.4	0.21
¹⁸ F-FDG	0.0	88652.0	
¹¹¹ In-Pentetoreotide	0.0	366.0	

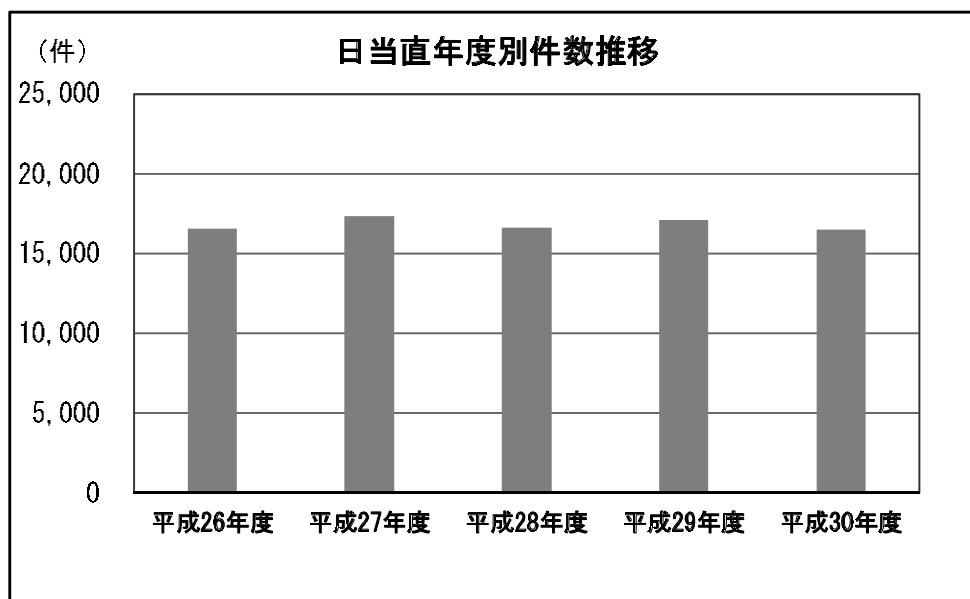
(11) 日当直状況

ア 月別日当直件数

平成30年度	平成30年度(件)		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度比
	当直	土日祝日勤	合計(件)	合計(件)	合計(件)	合計(件)	合計(件)	
4月	851	490	1,401	1,308	1,463	1,290	1,341	1.04
5月	913	527	1,492	1,991	1,463	1,624	1,440	0.89
6月	847	401	1,347	1,159	1,415	1,255	1,248	0.99
7月	976	515	1,335	1,286	1,427	1,602	1,491	0.93
8月	916	380	1,249	1,323	1,326	1,407	1,296	0.92
9月	812	552	1,405	1,547	1,284	1,449	1,364	0.94
10月	837	461	1,410	1,276	1,288	1,384	1,298	0.94
11月	799	451	1,307	1,472	1,437	1,359	1,250	0.92
12月	838	599	1,587	1,469	1,580	1,552	1,437	0.93
1月	1,015	760	1,629	1,465	1,554	1,715	1,775	1.03
2月	831	457	1,218	1,540	1,167	1,199	1,288	1.07
3月	776	459	1,136	1,475	1,177	1,220	1,235	1.01
合計	10,411	6,052	16,516	17,311	16,581	17,056	16,463	0.97
月平均	867.6	504.3	1,376.3	1,442.6	1,381.8	1,421.3	1,371.9	0.97
一日平均	28.5	50.0						

イ 日当直業務内容別件数

業務項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	前年度比
	合計件数	合計件数	合計件数	合計件数	合計件数	
1)単純撮影	8,282	8,120	8,250	8,334	7,604	0.91
2)回診撮影	3,337	3,763	2,957	3,286	3,780	1.15
3)透視撮影	84	153	164	131	124	0.95
4)カテ治療・IVR	154	196	188	200	177	0.89
5)CT検査	4,705	5,053	4,935	5,050	4,721	0.93
5)MR検査	4	26	87	55	57	1.04
	16,566	17,311	16,581	17,056	16,463	0.97



18 リハビリテーション科業務状況

リハビリテーション科において、平成 30 年度から新規に取り組みを行ったものについては、次のとおりです。

- 集中治療室入室後早期からの離床・リハビリテーションの取り組みに他部署と連携して介入を開始しました。併せて看護師に早期離床に関わる研修を行いました。
- 患者数増加に対応するため、言語聴覚療法室を 2 室から 3 室に増設しました。

川崎市立病院中期経営計画 2016-2020 に基づく取り組みについては、次のとおりです。

- 効率の良いリハビリテーション医療の提供のため、病棟でのリハビリテーションを段階的に拡大しています。
- 平成 31 年度以降の療法士増員に伴う管理・指導体制の準備を継続しています。

上記以外としては、栄養サポートチーム・緩和ケアチーム・脳卒中ユニット・呼吸器回診などの院内の他職種連携チームでの積極的な活動、糖尿病教室・がんサロン・市民公開講座等での市民への啓蒙活動などを以前と同様に行っています。

(1) 平成 30 年度業務実績

合計単位数

	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
理 学 療 法	49,104	43,511	28,948
作 業 療 法	18,788	20,833	19,204
言 語 ・ 嚥 下 療 法	9,971	8,532	8,007
合 計	77,863	72,876	56,159

(2) リハビリテーション処方件数

	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
理 学 療 法	2,640	2,475	1,981
作 業 療 法	804	981	1,026
言 語 ・ 嚥 下 療 法	521	381	367
合 計	3,965	3,837	3,374

(3) リハビリテーション科担当 平成 30 年度検査数

筋電図 124 件

嚥下造影 487 件

嚥下内視鏡 59 件

(4) 臨床実習

作業療法部門（担当：中村優太）

北里大学医療衛生学部リハビリテーション科 作業療法学専攻 1 名

（期間：平成 30 年 11 月 12 日～11 月 30 日）

19 検査科業務状況

病理医の杉浦検査科部長の下、臨床検査技師22名、非常勤職員1名、臨時的任用職員15名、プランチ・ラボ（SRLに業務委託）で業務を行いました。

平成30年8月から呼気NO測定を開始し、好酸球性気道炎症の評価を簡便かつ迅速に検査できるようになりました。また、平成30年10月から採血室の採血管準備装置を更新し、採血業務支援システムを導入しました。装置の故障と採血管の手貼りが減り患者待ち時間の短縮にもつながりました。同時に患者確認のシステム化・プライバシーの保護も実現できました。その他、感染対策チーム、栄養サポートチーム、糖尿病療養指導、DMAT等のチーム医療への参加など、検査の質と患者サービスの向上に努めています。

(1) 生理検査

項 目	平成29年度			平成30年度		
	外 来	入 院	総件数	外 来	入 院	総件数
心 電 図	16,095	3,145	19,240	15,745	3,161	18,906
C V R R	56	22	78	56	115	171
心 室 遅 延 電 位	3	5	8	1	3	4
運 動 負 荷	214	7	221	168	6	174
起 立 負 荷	56	13	69	137	51	188
ホ ル タ ー	356	12	368	265	23	288
ト レ ッ ド ミ ル	126	8	134	120	8	128
負 荷 心 肺 機 能 検 査	4	30	34	0	17	17
A B I	1,079	157	1,236	999	182	1,181
S P P	19	17	36	28	15	43
T B I	24	2	26	21	16	37
一 般 肺 機 能 (SVC)	1,591	329	1,920	1,763	363	2,126
一 般 肺 機 能 (FVC)	1,591	329	1,920	1,763	363	2,126
機 能 的 残 気 量	97	22	119	128	14	142
肺 拡 散 能 力	96	19	115	126	13	139
C ・ ボ リ ュ ム	80	17	97	75	6	81
薬 剤 吸 入 試 験	3	6	9	9	14	23
呼 気 N O 測 定				257	33	290
筋 電 図	307	36	343	300	28	328
神 経 伝 導 検 査	1,919	525	2,444	2,136	530	2,666
脳 波	681	375	1,056	679	375	1,054
脳 波 (眠 剤 使 用)	8	112	120	9	100	109
A B R	34	17	51	19	33	52
V E P						
S E P						
V E M P						
新生児聴覚スクリーニング	5	326	331	10	733	743
心 エ コ ー	1,836	875	2,711	2,039	1046	3,085
経 食 道 心 エ コ ー	7	17	24	5	10	15
腹 部 エ コ ー	3,356	732	4,088	3,576	824	4,400
体 表 エ コ ー	2,604	183	2,787	2,657	167	2,824
血 管 エ コ ー	521	459	980	514	534	1,048
エ コ ー 下 生 検 ・ 穿 刺	211	37	248	241	43	284
モ ニ タ リ ン グ	0	19	19	0	9	9
合 計	32,979	7,853	40,832	33,846	8,835	42,681

平成30年8月より呼気NO測定を始めました。

(2) 病理検査部門

ア 病理・細胞診検査

項 目	平 成 29 年 度			平 成 30 年 度		
	外来件数	入院件数	総件数	外来件数	入院件数	総件数
病 理 組 織 検 査	2,892	4,816	7,708	3,012	5,393	8,405
病 理 術 中 迅 速 検 査	2	257	259	3	265	268
免 疫 染 色	425	885	1,310	375	927	1,302
特 殊 染 色	100	680	780	168	738	806
電 子 顕 微 鏡 検 査	1	37	38	1	24	25
細 胞 診 検 査	7,393	1,582	8,975	7,137	1,726	8,863
細 胞 診 術 中 迅 速 検 査	0	27	27	0	25	25
病 理 解 剖	0	26	26	5	8	13
合 計	10,813	8,310	19,123	11,043	9,574	20,810

※平成29年度から「免疫染色」「特殊染色」の件数に細胞診件数を追加しています。

イ 剖検状況

科別剖検状況	平 成 29 年 度				平 成 30 年 度			
	実入院	死亡数	剖検数	剖検率	実入院	死亡数	剖検数	剖検率
内 科	5,300	274	24	8.76	5,072	269	12	4.46
神 経 科								
小 児 科	1,651	1			1,616	2		
外 科	1,638	62	2	3.23	1,683	39		
脳 神 経 外 科	234	8			213	5		
整 形 外 科	1,126	0			1,158	2		
形 成 外 科	91	0			74	0		
心 臓 血 管 外 科	95	1			51	1		
皮 膚 科	175	2			166	1		
泌 尿 器 科	804	4			913	11		
産科・婦人科（死産児）	1,972	3			1,914	6		
眼 科	188	0			219	0		
耳 鼻 咽 喉 科	432	4			424	3		
リハビリテーション科	0	0			0	0		
放 射 線 科	5	0			0	0		
歯 科 口 腔 外 科	118	0			80	0		
救 命 救 急 セ ン タ ー	958	283			853	283	1	0.35
感 染 内 科	0	0			0	0		
感 染 小 児 科	0	0			0	0		
精 神 科	215	0			188	0		
計	15,002	642	26	4.05	14,624	622	13	2.09

ウ 臨床支援業務

項 目	平 成 29 年 度			平 成 30 年 度		
	外来件数	入院件数	外来件数	外来件数	入院件数	総件数
産科エコー（胎児計測）	2,589		2,589	2,569		2,569

(3) 細菌検査

項目 \ 年度		平成 29 年 度			平成 30 年 度		
		外 来	入 院	合 計	外 来	入 院	合 計
塗 抹 鏡 検		3,666	3,808	7,474	3,692	3,849	7,541
培 養 同 定	口 腔 ・ 呼 吸 器	2,024	4,288	4,136	1,906	2,000	3,906
	消 化 器	1,008	1,421	1,525	363	969	1,332
	泌 尿 器 ・ 生 殖 器	1,027	3,543	3,506	2,377	1,059	3,436
	血 液 ・ 穿 刺 液	3,925	8,645	7,821	4,407	4,216	8,623
	そ の 他	674	1,128	1,242	474	629	1,103
嫌 気 性 培 養		5,963	5,356	11,319	5,637	5,548	11,185
薬 剤 感 受 性	1 菌 種	1,397	3,478	3,536	1,971	1,361	3,332
	2 菌 種	397	962	934	516	387	903
	3 菌 種 以 上	131	304	309	159	162	321
大 腸 菌 抗 原		272	263	535	213	166	379
大 腸 菌 ベ ロ ト キ シ ン		2	1	3	1	1	2
肺 炎 球 菌 抗 原		0	1	1	1	1	2
ヘ モ フ ィ ル ス 抗 原		0	1	1	0	0	0
カ ン ジ ダ		0	0	0	0	0	0
ト リ コ モ ナ ス		2	0	2	1	0	1
ク ラ ミ ジ ア		0	0	0	2	0	2
L A M P 法		93	140	233	63	136	199
合 計		23,184	20,153	43,337	21,783	20,484	42,267

(4) 血液センター

ア 検査件数

	平成 29 年 度			平成 30 年 度		
	外 来	入 院	合 計	外 来	入 院	合 計
血液型ABO式及びRh式	7,289	772	8,061	6,954	877	7,831
抗体スクリーニング 含む抗D i a抗体検査	5,553	584	6,137	5,496	605	6,101
A B O 式 亜 型 の 同 定	3	0	3	2	1	3
その他の血液型検査	1	1	2	3	0	3
抗 体 価	14	12	26	32	3	35
交 差 試 験	663	2,255	2,918	623	1,889	2,512
直 接 ク ー ム ス	32	258	290	95	329	424
間 接 ク ー ム ス	48	40	88	32	41	73
出 血 時 間	7	0	7	5	1	6
合 計	13,610	3,922	17,532	13,242	3,746	16,988

イ 血液使用数量

			平成 29 年 度			平成 30 年 度		
製	剤	単位	外 来	入 院	合 計	外 来	入 院	合 計
自	己	血	1	0	0	0	5	5
			2	0	80	0	64	64
成 分 製 剤	赤血球 製剤	R B C - L R	1	0	4	0	5	5
			2	471	1,334	471	1,199	1,670
		日 赤 照 射 R B C - L R	1	0	4	0	7	7
			2	4	30	4	29	33
		合 計	1	0	8	0	12	12
			2	475	1,364	475	1,228	1,703
	新 鮮 凍 結 血 漿	F F P - L R	120ml	0	1	0	0	0
			240ml	162	514	111	309	420
			480ml	0	44	0	41	41
	濃 厚 血 小 板	P C - L R	1	0	0	0	0	0
			5	0	0	0	0	0
			10	11	47	19	50	69
			15	0	1	0	0	0
			20	1	14	22	8	30
		日 赤 照 射 P C - L R	1	0	0	0	0	0
			5	1	8	0	5	5
			10	19	122	17	143	160
			15	0	3	0	0	0
			20	3	24	2	26	28
		P C - H L A - L R	10	0	0	0	0	0
			15	0	0	0	0	0
			20	0	0	0	0	0
			20	0	0	0	0	0

ウ 自己血貯血

		平成 29 年 度			平成 30 年 度		
	単位	外 来	入 院	合 計	外 来	入 院	合 計
液 状 保 存	1	1	0	1	12	0	12
	2	176	2	178	134	1	135
合 計		177	2	179	146	1	147

*単位 1 は200ml、単位 2 は400ml

(5) 院内委託検査

検査項目	平成 29 年 度			平成 30 年 度		
	外 来	入 院	総件数	外 来	入 院	総件数
(尿検査)						
尿定性	48,012	11,822	59,834	47,139	10,271	57,410
尿沈渣	26,292	7,849	34,141	26,075	6,946	33,021
尿定量検査	3,514	2,339	5,853	3,799	2,018	5,817
髄液検査	984	1,818	2,802	711	1,521	2,232
穿刺液検査	268	695	963	220	704	924
小計	79,070	24,523	103,593	77,944	21,460	99,404
(血液検査)						

血算	78,585	48,975	127,560	78,310	48,313	126,623
血液像	56,428	35,644	92,072	57,532	36,602	94,134
網状赤血球	8,193	8,026	16,219	7,742	8,636	16,378
浸透圧	678	1,523	2,201	585	1,670	2,255
血液ガス	1,956	2,102	4,058	1,522	2,290	3,812
赤沈	7,710	1,232	8,942	7,858	1,035	8,893
HbA1c	23,011	1,991	25,002	23,095	2,012	25,107
凝固関連検査	61,612	44,739	106,351	61,178	42,067	103,245
その他	14	5	19	9	1	10
小計	238,187	144,237	382,424	237,831	142,626	380,457
(血清検査)						
感染症関連検査	58,060	5,381	63,441	56,408	5,351	61,759
薬物関連検査	2,198	1,000	3,198	1,919	921	2,840
腫瘍関連検査	24,789	2,103	26,892	25,697	2,173	27,870
自己抗体検査	5,387	90	5,477	5,360	114	5,474
血漿蛋白免疫学的検査	72,236	45,400	117,636	73,060	45,724	118,784
小計	162,670	53,974	216,644	162,444	54,283	216,727
(生化学検査)						
血液化学検査	1,383,197	789,818	2,173,015	1,378,702	788,516	2,167,218
内分泌学的検査	28,197	5,050	33,247	30,745	5,888	36,633
小計	1,411,394	794,868	2,206,262	1,409,447	794,404	2,203,851
合計	1,891,321	1,017,602	2,908,923	1,887,666	1,012,773	2,900,439

*検査項目を診療報酬区分による分類に変更しました。

(6) 院外外注検査

検査項目	平成29年度			平成30年度		
	外来	入院	総件数	外来	入院	総件数
(尿・糞便等検査)						
尿検査・他	586	306	892	509	353	862
糞便検査	2,868	531	3,399	2,780	678	3,458
穿刺液・採取液検査	13	47	60	13	81	94
悪性腫瘍組織検査	133	63	196	143	84	227
小計	3,600	947	4,547	3,445	1,196	4,641
(血液学的検査)						
血液形態・機能検査	1	0	1	0	0	0
骨髓像	58	66	124	91	69	160
造血器腫瘍細胞抗原検査	55	76	131	75	68	143
出血・凝固検査	216	124	340	171	201	372
造血器腫瘍遺伝子・染色体検査	115	111	226	170	101	271
遺伝学的検査	1	1	2	1	0	1
先天異常染色体検査	9	9	18	28	8	36
遺伝学的検査 (PGx)	10	8	18	12	8	20

悪性腫瘍遺伝子検査	9	4	13	22	10	32
小計	474	399	873	570	465	1,035
(生化学的検査)						
血液化学検査	10,048	3,778	13,826	11,917	3,912	15,829
内分泌学的検査	6,646	3,071	9,717	6,536	2,978	9,514
腫瘍マーカー	14,179	1,816	15,995	15,061	2,004	17,065
特殊分析	639	185	824	872	376	1,248
小計	31,512	8,850	40,362	34,386	9,270	43,656
(免疫学的検査)						
免疫血液学的検査	47	15	62	42	32	74
感染症・ウイルス検査	12,930	3,193	16,123	13,227	4,205	17,432
自己抗体検査	17,159	3,447	20,606	17,356	4,271	21,627
血漿蛋白免疫学的検査	13,801	2,915	16,716	13,868	2,502	16,370
細胞機能検査	1,255	93	1,348	1,254	86	1,340
小計	45,192	9,663	54,855	45,747	11,096	56,843
(微生物学的検査)						
塗抹・培養・感受性検査	2,683	3,961	6,644	2,585	4,046	6,631
核酸同定・定量検査	4,130	1,602	5,732	4,299	1,465	5,764
その他微生物学的検査	710	3	713	442	3	445
小計	7,523	5,566	13,089	7,326	5,514	12,840
(病理診断)						
悪性腫瘍免疫染色・FISH法検査	391	202	593	318	181	499
小計	391	202	593	318	181	499
(保険収載外検査)						
血中薬物濃度	1,634	251	1,885	1,727	288	2,015
腫瘍マーカー	191	1	192	155	1	156
その他検査	349	35	384	289	27	316
小計	2,174	287	2,461	2,171	316	2,487
(負荷試験等)						
機能テスト	38	13	51	33	17	50
小計	38	13	51	33	17	50
合 計	90,904	25,927	116,831	93,996	28,055	122,051

*検査項目を診療報酬区分による分類に変更しました。

(7) 採血件数

	平成 29 年 度		平成 30 年 度	
	件 数	日 平 均	件 数	日 平 均
採血件数	68,399	280.4	68,451	281.0

(8) 宿日直検査

項 目	平成 29 年 度		平成 30 年 度	
	件 数	月 平 均	件 数	月 平 均
血液型検査	1,852	154.3	1,646	137.1
交差適合試験	1,091	90.9	965	80.4
血液製剤払い出し	691	57.6	629	52.4
心電図検査	4,729	394.1	4,408	367.3
合 計	8,363	696.9	7,648	637.3

(9) 各種認定資格取得状況

日本超音波医学会認定超音波技師：循環器 3 名、消化器 3 名、体表臓器 2 名

日本リウマチ学会登録ソノグラファー：2 名、血管診療技師認定機構認定 血管診療技師：1 名

日本糖尿病療養指導士：2 名、日本臨床細胞学会認定細胞検査士：3 名（国際細胞検査士 3 名）

日本臨床衛生検査技師会病理検査技師 1 名、日本輸血・細胞治療学会認定輸血検査技師：2 名

(10) 科内勉強会実施状況

No.	研 修 内 容	実施年月日	参加者数	講 師
1	日当直時の病理検査(再確認)	平成30年 5月15日	14名	宮下 卓矢
2	カビってなに？	平成30年 6月12日	16名	金子 誠
3	肺癌について	平成30年 7月10日	17名	原田 咲耶
4	多発性骨髄腫新規治療薬（ダラツムマブ）と輸血検査	平成30年 10月9日	15名	三津田 太郎
5	市民公開講座の報告	平成30年 11月13日	16名	安部 さやか
6	血液培養について	平成30年 12月11日	18名	伊礼 理絵
7	肺癌の遺伝子検査	平成31年 2月12日	19名	谷口 早絵
8	ABO亜型とその対応	平成31年 3月12日	19名	布川 沙也花

20 給食業務状況

平成30年度は、引き続き特別食の増加を目標に掲げ、給食総数の増加のみならず、特別食比率も増加しました。また嚥下障害食の見直しを行い、変更しました。栄養に関する情報発信として、栄養だよりを作成、毎月ダイルームへ掲示しました。また献立アイディア募集箱の意見を参考に委託業者と連携しながら、メニュー改善に努めました。

(1) 年度別給食状況

年 度	一 般 食				特別食	計	1 回 の 食 数	特別食 比率%
	常 食	軟 食	流動食	計				
平成26年度	190,806	89,445	51,783	332,034	119,848	451,882	413	26.5
平成27年度	189,566	92,045	56,284	337,895	126,162	464,057	424	27.2
平成28年度	192,865	96,665	45,708	335,238	112,724	447,962	409	25.2
平成29年度	186,206	103,025	49,378	338,609	131,189	469,798	429	27.9
平成30年度	189,330	86,774	45,347	321,597	127,594	449,045	410	28.4

(2) 食種別給食数

総 数 449,045 食 100 %

一般食	321,451食	71.6 %	—	常食	189,330 食
			—	軟食	55,834 食
			—	嚥下調整食	30,940 食
			—	流動食	4,978 食
			—	調乳	13,811 食
			—	濃厚流動食	26,558 食

特別食	127,594食	28.4%	—	蛋白コントロール 食	53,636 食
			—	脂質コントロール 食	8,440 食
			—	カロリーコントロール 食	56,098 食
			—	術後・潰瘍食	8,033 食
			—	調乳 (HMS-2)	1,688 食
			—	大腸検査食	699 食

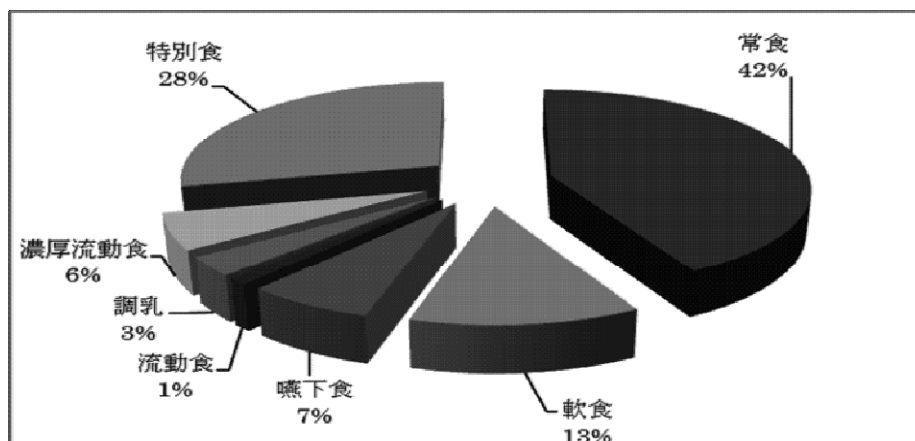
なごみ食 7,921食 (常食として計上)

フリーオーダー食 1,679食 (常食として計上)

定型除去食 107食 (軟食として計上)

検食 4,380 食 (常食として計上)

食種別比率



(3) 月別給食数 (平成30年度)

月別	一般食				特別食	計	1回の食数
	常食	軟食	流動食	計			
4月	16,442	7,530	3,715	27,687	10,565	38,252	425
5月	15,099	7,111	4,787	26,997	10,584	37,581	404
6月	15,542	7,277	4,260	27,079	10,267	37,346	415
7月	17,250	8,043	4,610	29,903	10,164	40,067	431
8月	17,133	8,161	4,225	29,519	11,161	40,680	437
9月	15,414	7,065	3,514	25,993	9,870	35,863	398
10月	16,124	6,764	3,828	26,716	10,021	36,737	395
11月	15,113	6,503	3,517	25,133	9,774	34,907	388
12月	15,248	7,533	2,724	25,505	10,695	36,200	389
1月	15,789	7,181	3,560	26,530	11,230	37,760	406
2月	14,740	7,175	3,264	25,179	11,242	36,421	434
3月	15,436	6,431	3,343	25,210	12,021	37,231	400
計	189,330	86,774	45,347	321,451	127,594	449,045	410

(4) 嚥下調整食数

平成31年2月より嚥下調整食の分類を見直し、細きざみときざみ食をまとめ5段階としました。全食数の7%を占めています。栄養サポートチームでは経口摂取をめざし、早期介入を行っています。

年度	30年度 2月以前	ゼリー 開始食	ミキサー	細きざみ	きざみ	軟菜食Ⅰ	軟菜食Ⅱ	計
	30年度 2月以降		とろみ ペースト	とろみきざみ		とろみ やわらか	やわらか	
平成26年度		1,647	16,159	7,459	6,498	7,885	2,240	41,888
平成27年度		1,730	13,404	5,927	8,074	7,738	1,991	38,864
平成28年度		1,235	8,565	5,896	6,683	6,227	3,915	32,521
平成29年度		981	9,831	9,649	7,455	7,460	2,629	38,005
平成30年度2月以前		685	8,571	4,368	4,721	5,302	1,457	30,940
平成30年度2月以降			1,072	1,488		1,002	2,301	

21 栄養指導・NST業務状況

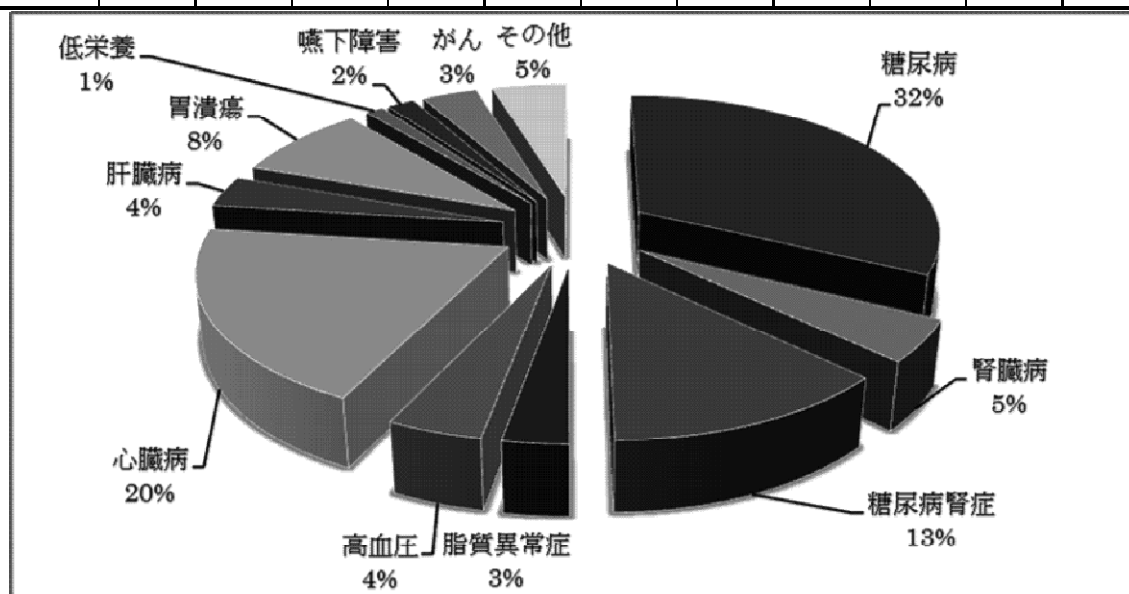
(1) 栄養指導状況

個別指導件数に占める入院個別指導の割合が増えています。透析予防指導の件数は、やや減っています。疾患別では糖尿病、糖尿病腎症合わせて45%と糖尿病関連の指導が半数を占めています。心臓カテーテル入院でのクリニカルパス指導件数が20%と次いで多く、件数、割合が共に増えています。

		個別指導		集団指導			
		個別指導	透析予防指導	糖尿病教室		母親教室	イベント
				基礎	応用		
回数	総数	2338	346	11	11	12	3
	月平均	194.8	28.8	0.9	0.9	1.0	
人数	総数	2338	346	87	92	196	163
	月平均	194.8	28.8	7.3	7.7	16.3	
内 訳	総数	外来	787	346	17	28	196
		入院	1551		70	64	0
		家族他	620	35	19	27	2
	月平均	外来	65.6	28.8	1.4	2.3	16.3
		入院	129.3		5.8	5.3	0.0
		家族他	51.7	2.9	1.6	2.3	0.2
時間	総時間	1169	173	11	11	12	
	1回	30分	30分	1時間	1時間	1時間	

個別栄養指導(疾患別件数)

糖尿病	腎臓病	糖尿病腎症	脂質異常症	高血圧	心臓病	肝臓病	胃潰瘍	低栄養	嚥下障害	がん	その他
866	128	346	79	114	533	94	227	31	47	93	126



(2) N S T 回診状況

N S T（栄養サポートチーム）は食事だけでなく、経管栄養、静脈栄養など総合的かつ専門的な栄養管理を目指し、医師、看護師、薬剤師、栄養士、検査技師、言語聴覚士など、多職種が連携して活動を行っています。平成22年の診療報酬改定にて、栄養サポートチーム加算（200点／週／人）が新設され、平成23年3月から施設基準を満たし算定を行っています。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年間 (人)
平成 26 年度	182	172	254	176	193	209	216	189	186	167	156	184	2,284
平成 27 年度	162	140	144	163	126	142	138	127	114	125	135	151	1,667
平成 28 年度	125	119	138	128	196	136	128	162	164	185	172	156	1,809
平成 29 年度	126	200	192	165	199	172	223	159	174	162	137	152	2,061
平成 30 年度	176	179	142	224	191	185	200	153	156	156	155	147	2,064

※回診回数：平成24年度～平成26年度週3回、平成27年度から週2回

〔介入状況〕

N S T 加算算定開始後は嚥下障害や食種・補助食の相談を中心に介入患者数を増やしてきました。嚥下障害による介入依頼が半数を占めています。平成29年度に開始したCONUT変法スコアによる介入依頼や、I C Uからの栄養経路、輸液内容についての介入依頼も増加しました。介入終了理由については退院・転院が半数を占めています。

	経管栄養 (下痢含む)	褥瘡 /CONUT	嚥下障害	食種・ 補助食	輸液	栄養判定 ・栄養経路	その他	合計 (人)
平成 26 年度	77 (12.0%)	1 (0.2%)	325 (50.7%)	183 (28.5%)	27 (4.2%)		28 (4.4%)	641
平成 27 年度	66 (14.9%)	1 (0.2%)	269 (60.7%)	84 (19.0%)	20 (4.5%)		3 (0.7%)	443
平成 28 年度	56 (11.4%)	5 (1.0%)	283 (57.7%)	82 (16.7%)	23 (4.7%)	7 (1.4%)	35 (7.1%)	491
平成 29 年度	49 (8.6%)	0 / 9 (1.6 %)	335 (58.7%)	130 (22.8%)	37 (6.5%)	9 (1.6%)	1 (0.2%)	570
平成 30 年度	64 (10.3%)	1 / 54 (8.9%)	297 (48.0%)	128 (20.6%)	50 (8.0%)	23 (3.7%)	3 (0.5%)	620

	退院	転院	改善	不変	死亡	悪化 (ターミナルなど)	合計 (人)
平成 26 年度	195 (30.8%)	73 (11.5%)	266 (42.0%)	18 (2.8%)	49 (7.7%)	32 (5.1%)	633
平成 27 年度	98 (20.7%)	53 (11.2%)	235 (49.7%)	41 (8.7%)	22 (4.7%)	24 (5.1%)	473
平成 28 年度	156 (32.5%)	81 (16.9%)	178 (37.1%)	15 (3.1%)	37 (7.7%)	13 (2.7%)	480
平成 29 年度	185 (32.6%)	99 (17.4%)	199 (35.0%)	15 (2.6%)	30 (5.3%)	40 (7.1%)	568
平成 30 年度	161 (25.9%)	84 (13.5%)	269 (43.2%)	24 (3.9%)	45 (7.2%)	39 (6.3%)	622

〔入院期間と介入期間〕

病院全体として入院期間短縮に取り組む中で、NST介入者の入院期間と介入期間は下表のとおりです。介入者の高齢化が進む中、入院期間が短くなるような介入を目指しています。平成30年度の介入患者は、入院期間、介入期間ともに短縮しました。

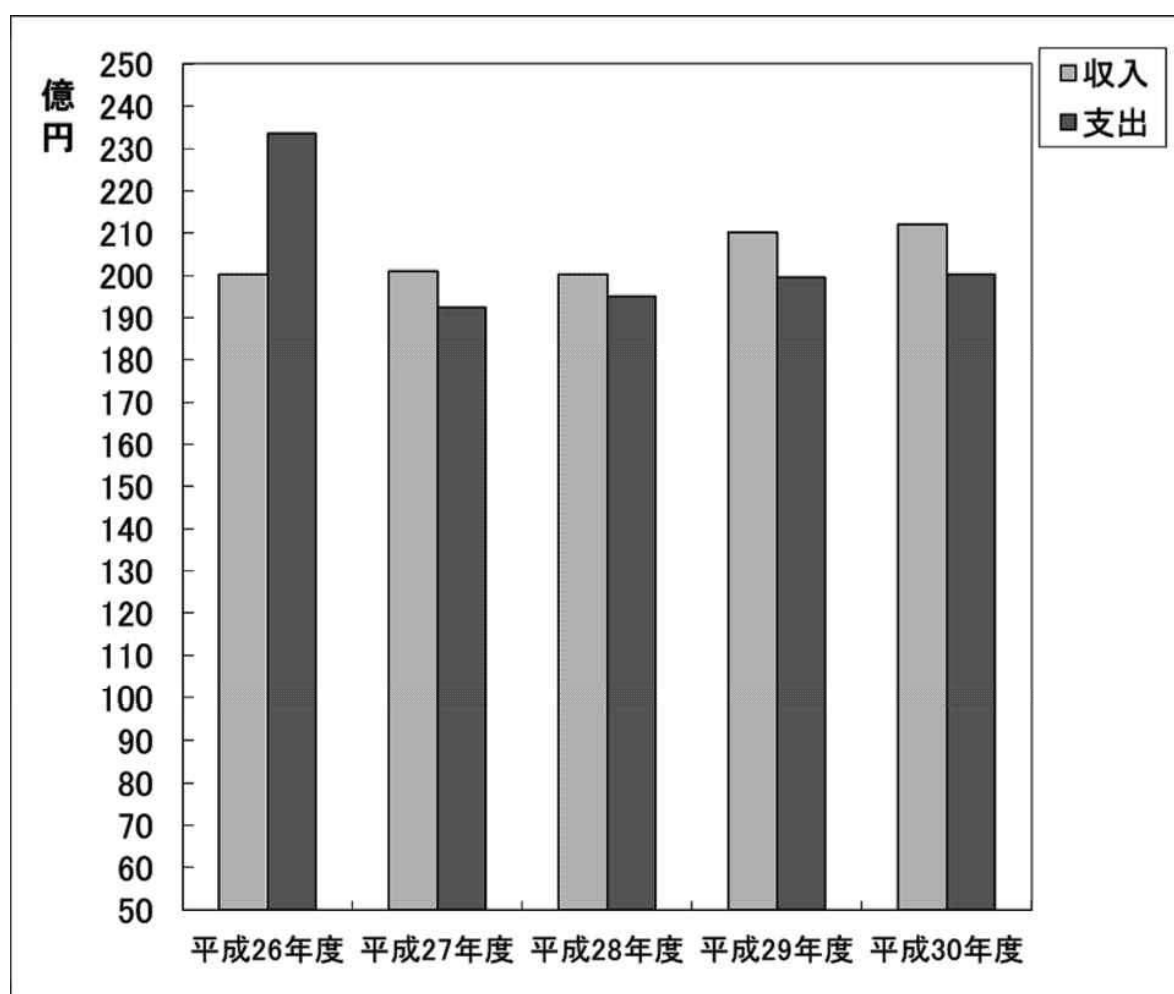
	年齢（歳）	入院期間（日）	介入期間（日）
平成26年度	76.0	39.0	14.0
平成27年度	75.0	54.8	14.3
平成28年度	73.7	50.0	21.7
平成29年度	76.1	46.3	21.2
平成30年度	75.0	44.9	17.9

Ⅳ 経 理 概 要

1 年度別経営収支状況

(単位：千円)

年 度	収 入		支 出		損 益
	決 算 額	指 数	決 算 額	指 数	
平成26年度	20,035,777	100	23,363,614	100	-3,327,837
平成27年度	20,102,156	100	19,246,546	82	855,610
平成28年度	20,018,915	100	19,508,441	84	510,474
平成29年度	21,009,247	105	19,958,891	85	1,050,356
平成30年度	21,209,206	106	20,019,365	86	1,189,841



2 収入・支出状況

(1) 収益的収入及び支出

収 入

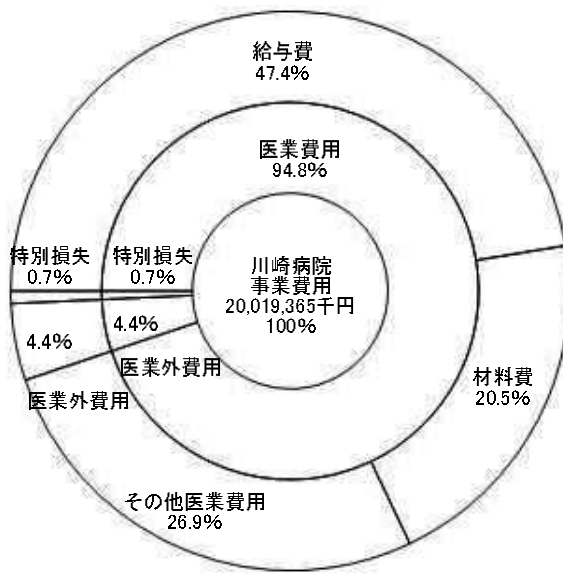
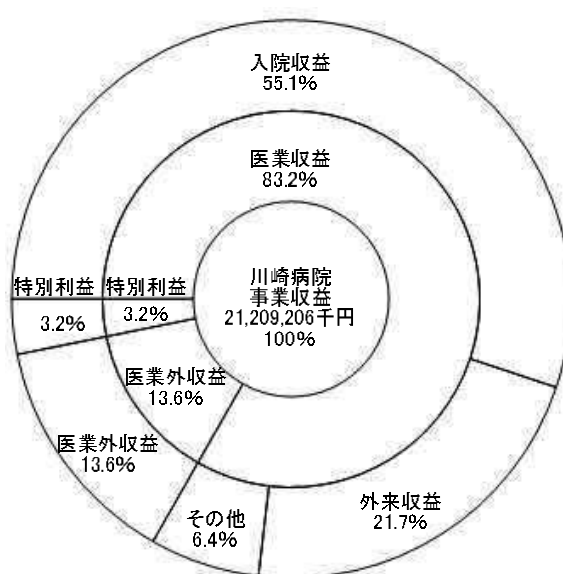
(単位：千円)

科 目	平成29年度		平成30年度	
	決算額	構成比率 (%)	決算額	構成比率 (%)
川崎病院事業収益	21,009,247	100.0	21,209,206	100.0
医業収益	17,571,937	83.6	17,652,874	83.2
入院収益	11,833,787	56.3	11,691,658	55.1
外来収益	4,418,823	21.0	4,612,851	21.7
その他	1,319,327	6.3	1,348,365	6.4
医業外収益	2,773,211	13.2	2,881,948	13.6
受取利息配当金	21	0.0	16	0.0
補助金	34,394	0.2	44,876	0.2
負担金交付金	1,943,865	9.3	1,990,144	9.4
長期前受金戻入	357,706	1.7	353,624	1.7
資本費繰入収益	219,242	1.0	252,279	1.2
その他	217,983	1.0	241,009	1.1
特別利益	664,099	3.2	674,384	3.2

支 出

(単位：千円)

科 目	平成29年度		平成30年度	
	決算額	構成比率 (%)	決算額	構成比率 (%)
川崎病院事業費用	19,958,891	100.0	20,019,365	100.0
医業費用	18,874,637	94.6	18,985,605	94.8
給与費	9,542,237	47.8	9,488,842	47.4
材料費	3,925,247	19.7	4,113,317	20.5
経 費	4,201,727	21.1	4,162,743	20.8
減価償却費	1,120,107	5.6	1,138,919	5.7
資産減耗費	32,762	0.2	9,291	0.0
研究研修費	52,557	0.3	72,493	0.4
医業外費用	902,651	4.5	889,953	4.4
特別損失	181,603	0.9	143,807	0.7



(2) 資本的收入及び支出

収 入

(単位：千円)

科 目	平 成 29 年 度		平 成 30 年 度	
	決算額	構成比率 (%)	決算額	構成比率 (%)
川崎病院事業資本的收入	1,549,974	100.0	1,379,943	100.0
企 業 債	539,000	34.8	362,240	26.3
出 資 金	0	0.0	0	0.0
固 定 資 産 売 却 代 金	0	0.0	0	0.0
補 助 金	1,890	0.1	0	0.0
負 担 金	1,009,084	65.1	1,017,703	73.7

支 出

(単位：千円)

科 目	平 成 29 年 度		平 成 30 年 度	
	決算額	構成比率 (%)	決算額	構成比率 (%)
川崎病院事業資本の支出	2,559,328	100.0	2,469,553	100.0
建 設 改 良 費	643,013	25.1	460,932	18.7
企 業 債 償 還 金	1,916,315	74.9	2,008,621	81.3
長 期 借 入 金 償 還 金	0	0.0	0	0.0

3 年度別一般会計繰入金及び出資金

(単位：千円)

種 別 \ 年 度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
収 益 的 収 入 他会計負担金、他会計補助金、 負担金交付金、資本費繰入収益	3,128,730	3,139,215	3,225,129	3,327,124
資 本 的 収 入 (出 資 金)	0	0	0	0

4 比較貸借対照表

(単位：千円)

科 目	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	増 減	前年度比 (%)	構成比率 (%)	
					平 成 29年度	平 成 30年度
固定資産	16,582,997	15,872,499	△ 710,498	95.7	75.9	74.8
有形固定資産	16,582,997	15,872,499	△ 710,498	95.7	75.9	74.8
土 地	426,224	426,224	0	100.0	2.0	2.0
建 物	13,546,997	13,078,780	△ 468,217	96.5	62.0	61.6
構築物	48,266	48,090	△ 176	99.6	0.2	0.2
器械備品	2,401,714	2,167,899	△ 233,815	90.3	11.0	10.2
車 両	2,887	2,306	△ 581	79.9	0.0	0.0
リース資産	123,655	94,399	△ 29,256	76.3	0.6	0.4
その他	30,013	28,605	△ 1,408	95.3	0.1	0.1
建設仮勘定	3,240	26,196	22,956	808.5	0.0	0.1
無形固定資産	—	—	—	—	—	—
施設利用権	—	—	—	—	—	—
流動資産	5,258,058	5,357,875	99,817	101.9	24.1	25.2
現金預金	2,329,370	2,349,612	20,242	100.9	10.7	11.1
未収金	2,852,094	2,915,138	63,044	102.2	13.1	13.7
貯蔵品	76,594	93,125	16,531	121.6	0.4	0.4
前払金	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—
資産合計	21,841,055	21,230,374	△ 610,681	97.2	100.0	100.0

(単位：千円)

科 目	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	増 減	前年度比 (%)	構成比率 (%)	
					平 成 29年度	平 成 30年度
固定負債	20,922,798	19,045,425	△ 1,877,373	91.0	70.0	64.4
企業債	17,324,236	15,593,012	△ 1,731,224	90.0	57.9	52.7
リース債務	96,047	60,891	△ 35,156	63.4	0.3	0.2
引当金	3,502,515	3,391,522	△ 110,993	96.8	11.7	11.5
流動負債	4,985,540	5,362,184	376,644	107.6	16.7	18.1
企業債	2,008,621	2,093,464	84,843	104.2	6.7	7.1
リース債務	15,666	24,829	9,163	158.5	0.1	0.1
未払金	2,167,334	2,432,070	264,736	112.2	7.2	8.2
未払費用	172,647	171,764	△ 883	99.5	0.6	0.6
引当金	518,465	550,908	32,443	106.3	1.7	1.9
その他	102,807	89,149	△ 13,658	86.7	0.3	0.3
繰延収益	536,033	522,953	△ 13,080	97.6	1.8	1.8
負債合計	26,444,371	24,930,562	△ 1,513,809	94.3	88.4	84.3
資本金	8,750,047	8,750,047	0	100.0	29.3	29.6
自己資本	—	—	—	—	—	—
借入資本	—	—	—	—	—	—
企業債	—	—	—	—	—	—
剰余金	△ 5,289,507	△ 4,093,104	1,196,403	77.4	△ 17.7	△ 13.8
資本剰余金	71,872	78,434	6,562	109.1	0.2	0.3
受贈財産評価額	30,092	30,092	0	100.0	0.1	0.1
補助金	22,897	22,897	0	100.0	0.1	0.1
負担金	18,883	25,445	6,562	134.8	0.1	0.1
欠損金	5,361,379	4,171,538	△ 1,189,841	77.8	△ 17.9	△ 14.1
当年度未処理決損金	5,361,379	4,171,538	△ 1,189,841	77.8	△ 17.9	△ 14.1
資本合計	3,460,539	4,656,942	1,196,403	134.6	11.6	15.7
負債資本合計	29,904,910	29,587,504	△ 317,406	98.9	100.0	100.0

※ 各表の数値については、端数処理の関係から合計値が一致しない場合があります。

5 主な経営分析

項 目	平成29年度	平成30年度
(1) 病床利用率 (%)		
一 般 = $\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	77.1	74.2
精 神 = $\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	52.6	44.2
感 染 = $\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延病床数}} \times 100$	0.0	0.0
(2) 一日平均患者数 (人)		
入 院 = $\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{診療日数}}$	531.0	508.6
外 来 = $\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{診療日数}}$	1371.3	1342.2
(3) 外来入院患者比率 (%) $\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延入院患者数}} \times 100$	172.6	176.4
(4) 職員1人当たり患者数 (人)		
医 師 { 入 院 = $\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延医師数}}$	4.1	3.8
外 来 = $\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延医師数}}$	10.7	10.0
看護部門 { 入 院 = $\frac{\text{年延入院患者数}}{\text{年延看護部門職員数}}$	0.9	0.9
外 来 = $\frac{\text{年延外来患者数}}{\text{年延看護部門職員数}}$	2.3	2.3
(5) 患者1人1日当たり診療収入 (円)		
入 院 = $\frac{\text{入院収益}}{\text{年延入院患者数}}$	61,055	62,979
外 来 = $\frac{\text{外来収益}}{\text{年延外来患者数}}$	13,206	14,085
(6) 患者1人1日 当たり薬品費 (円) = $\frac{\text{薬品費 (投薬・注射)}}{\text{年延患者総数}}$	3,155	3,571
(7) 入院患者1人1日当たり給食材料費 (円)		
= $\frac{\text{給食材料費}}{\text{年延入院患者数}}$	631	630

項 目		平成29年度	平成30年度
(8) 薬品使用効率 (%) = $\frac{\text{投薬注射収入}}{\text{薬品費}} \times 100$		74.0	74.8
(9) 診療収入に対する割合 (%)			
投薬注射収入	$\frac{\text{投薬注射収入}}{\text{入院外来収益}} \times 100$	10.3	11.2
検 査 収 入	$\frac{\text{検査収入}}{\text{入院外来収益}} \times 100$	7.8	8.0
放 射 線 収 入	$\frac{\text{放射線収入}}{\text{入院外来収益}} \times 100$	4.1	4.3
(10) 医業収益に対する割合 (%)			
薬 品 費	$\frac{\text{薬品費}}{\text{医業収益}} \times 100$	12.8	13.9
診 療 材 料 費	$\frac{\text{診療材料費}}{\text{医業収益}} \times 100$	8.7	8.7
給 与 費	$\frac{\text{給与費}}{\text{医業収益}} \times 100$	54.3	53.8

V 研究・研修及び実習・講師派遣

1 診療関係研究

平成30年度C. P. C開催内容

	開催番号	年月日	剖検番号	症例事項名	主治医	病理担当
通 常 型	第386回	10月31日	A-6087	肺癌＋石綿肺	永 田 真 夕	折 笠 英 紀
	第387回	11月21日	A-6089	肺炎＋肺腺癌	李 昊	堀 井 千 裕 杉 浦 仁
	第388回	12月19日	A-6098	平滑筋肉腫	有 泉 健	堀 井 千 裕 杉 浦 仁
	第389回	平成31年 1月16日	A-6095	動脈線維筋性異形成＋ 解離	竹 村 成 秀	折 笠 英 紀
	第390回	2月20日	A-6094	中性脂肪蓄積心筋血管 症の疑い	大 草 翔 平	堀 井 千 裕 杉 浦 仁

平成30年度ミニクルズ開催内容

	開催番号	年月日	剖検番号	症例事項名	主治医	病理担当
ミ ニ ク ル ズ	第1回	11月7日	A-6027	von Recklinghausen病	大 谷 慧	杉 浦 千 仁 堀 井 尋
	第2回	11月28日	A-6029	MDS急性白血病化	有 馬 聖 永	杉 浦 千 仁 堀 井 尋
	第3回	12月26日	A-6030	食道・胃接合部癌術後	大 谷 慧	杉 浦 千 仁 堀 井 尋
	第4回	平成31年 1月30日	A-6026	高齢者EBV陽性DLBCL	齋 藤 豊	杉 浦 仁 江 本 桂
	第5回	2月27日	A-6013	全身性硬化症＋卵巢癌	藤 澤 有 希	杉 浦 仁 尾 原 健 太 郎
	第6回	3月20日	A-6018	糖尿病＋急性心筋梗塞	金 尾 邦 生	杉 浦 仁 岡 田 保 典
	第7回	3月27日	A-6093	骨髓異形成症候群＋ 敗血症性ショック＋DIC	花 田 亮 太	折 笠 英 紀

各診療科カンファレンス状況

各 科	検討会	抄読会	研究会	各カンファレンス内容
内 科	週1回	週1回	月1回	内科（週2回） 循環器（週1回） 内視鏡（週1回） リウマチ（週1回） 腎臓（週1回） 神経（週1回） 呼吸器（週1回） 総合内科（週1回） 消化器（週1回）
精 神 科	週1回			病棟カンファレンス（週1回） 医局カンファレンス（週1回） 病棟回診（週1回）

各 科	検討会	抄読会	研究会	各カンファレンス内容
小 児 科 新生児内科	週 1 回	週 1 回		神奈川県下10病院合同症例検討会（年 1 回） 川崎市小児科医会症例検討会（年 2 回） 病棟回診（週 2 回） カルテ回診（週 1 回） 慶大小児科高橋教授回診（月 2 回） X線画像カンファレンス（週 1 回） 症例検討会（月 2 回）
外 科	週 1 回	月 1 回		部長回診（週 1 回） 術前・術後カンファレンス（各週 1 回） 消化器カンファレンス（隔週） 救急外科カンファレンス（不定期） 合併症カンファレンス（不定期）
脳神経外科	週 4 回	適宜		脳神経カンファレンス（週 1 回） カルテ回診（週 1 回） 術前カンファレンス（週 1 回） 病棟カンファレンス（週 1 回）
整 形 外 科	週 1 回	適宜	年 2 回	X線画像カンファレンス（週 5 回）入院患者カンファレンス（週 1 回） 全体カンファレンス（月 1 回）
形 成 外 科	週 1 回	月 1 回	年 2 回	術前カンファレンス（週 1 回） 抄読会（月 1 回） 同門会（年 2 回）
心臓血管外科	週 1 回			循環器合同（週 1 回） 術前カンファレンス（週 1 回）
皮 膚 科	週 1 回	適宜		病理カンファレンス（週 1 回） 臨床画像カンファレンス（週 1 回）
泌 尿 器 科	週 2 回			術前カンファレンス（週 1 回） 病棟カンファレンス（週 1 回）
産科・婦人科	週 1 回		年 2 回	ハイリスク症例検討（週 1 回） 手術症例検討会（週 1 回） 勉強会（月 2 回） カルテ回診（週 1 回） 放射線カンファレンス（年 4 回）
眼 科	週 1 回	月 2 回	年 1 回	症例検討カンファレンス（週 1 回）
耳鼻咽喉科	週 4 回	月 2 回		術前カンファレンス（週 1 回） 病棟カンファレンス（週 1 回） 癌治療カンファレンス（週 1 回） 耳鼻科・放射線治療科合同カンファレンス（週 1 回） 耳鼻科・リハ科合同嚥下カンファレンス（月 1 回）
放射線診断科	週 4 回	適宜		放射線科画像カンファレンス（週 1 回） 消化器画像カンファレンス（月 2 回） 小児科画像カンファレンス（週 1 回） 産婦人科画像カンファレンス（年 4 回） 呼吸器画像カンファレンス（週 1 回） 脳神経カンファレンス（週 1 回）
放射線治療科	週 1 回			耳鼻科・放射線治療科合同カンファレンス（週 1 回） 呼吸器合同カンファレンス（週 1 回）
麻 酔 科	毎日	月 2 回		術前カンファレンス（週 5 回） 抄読会（月 2 回）

各 科	検討会	抄読会	研究会	各カンファレンス内容
リハビリテーション科		月 1 回		耳鼻科・リハビリテーション科合同嚥下カンファレンス（月 1 回） 摂食嚥下ランチ回診、カンファレンス（月 2 回） 脳神経外科病棟カンファレンス（週 1 回） 整形外科カンファレンス（医師：週 1 回、療法士：週 2 回） SCU部会（月 2 回） NSTカンファレンス（週 1 回） NST部会（月 1 回） NST回診（週 2 回） 神経内科カンファレンス（週 1 回）
歯科・口腔外科	週 1 回	適宜	年 3 回	カンファレンス（週 1 回） 川崎病院症例検討会（年 3 回）
救 急 科	週14回	月 4 回		総合カンファレンス（月 4 回）、症例検討会（週14回） 救急科・外科症例カンファレンス（適時） 救急科・精神科症例カンファレンス（月 4 回）
病理診断科	毎日			症例検討会（毎日）、消化器カンファレンス（月 1 回）

2 院内研究交流会 平成 31 年 2 月 26 日(火) 17:30~20:00

演 題	演 者	所 属
産後うつスクリーニング導入への取り組み ～EPDSを活用した産後のメンタルヘルスケアを考える～	今住由実 山田あゆみ	看護部
当院における循環器疾患に対する作業療法士の取り組み	佐藤直人 小島巖 リハビリテーション科医師 一同	リハビリテーション科
薬剤師の病棟常駐は何をもたらすのか？	井上彰大	薬剤部
肺癌による癌性髄膜炎に対するオンマイヤリザーバーを用いたメトトレキサート髄腔内治療の検討	田中希宇人 片山真 扇野圭子 阿瀬川周平 森田篤帆 篠崎太郎 大森奈緒 佐山宏一	呼吸器内科 脳神経外科
当院における全身麻酔下施行した超緊急帝王切開 25 例に関する後方視的検討	王洪欣 鈴木毅 樋口隆幸 吉村拓馬 大橋千恵 眞木順子 春日義史 金善恵 染谷健一 中田さくら	産婦人科
手術室における放射線防護衣点検方法の検討および結果	青木友絵 吉野秀佳 堀口将生 角田昭夫	放射線診断科
おいしい嚥下調整食ができました	清水谷弘美 食用科・日清医療食品 栄養サポート チーム一同	食養科 日清医療食品(株) 栄養サポートチーム
透析室チーム医療推進に向けた業務改善について	林田友紀 櫻井由美子 土屋千恵子 芝真佐樹	看護部透析室

演 題	演 者	所 属
CONUT変法栄養不良患者スクリーニングを活用したNSTの新たな取り組み	寺岡和香 廣瀬麻未 小笠原美穂 清水谷弘美 井上彰大 古瀬美穂 檜林敦 阿部玲音 杉山瑤	検査科生理検査室 食養科 薬剤部 看護部 小児科 リハビリテーション科
PET-CT検査に携わる医療スタッフの被ばく線量について	小林裕介 齋藤敦子 宮崎恭助 歌代怜奈 小野欽也 藤森由美子 渡辺綾乃 伊藤みどり 成田貴子	放射線診断科 看護部
糖尿病教室への理学療法士の関わり方の検討 ～アンケート結果を踏まえて～	小田桐航太 小島巖 菅野詩子 野田剛 阿部玲音	リハビリテーション科
川崎市における 2018 年流行初期の風疹発生状況	田中邦生 新田礼子 池田史朗 丸山絢 津村和大 三崎貴子 岡部信彦	臨床研修医 川崎市健康安全研究所 内科・教育指導部
喉頭下咽頭癌における治療前PET/CTを用いた予後予測能の検討	佐藤陽一郎 今西順久 栗林徹 舟越和仁 緒方雄史 佐藤えみり 松居祐樹 井口聖名 小野鉄也 歌代怜奈 宮崎恭助 小林裕介	耳鼻咽喉科 放射線診断科 放射線治療科

演 題	演 者	所 属
急性感音難聴を来した成人発症ムンプスの1例	及川紗由香 今本多計臣 内田絢子 加藤恭介 佐藤慎吾 佐柳太一 田中優衣 松山遼太郎 森田すみれ 細田智弘 坂本光男 佐藤えみり	臨床研修医 感染症内科 耳鼻咽喉科
当院でのインフルエンザワクチン接種状況とその予防率について	杉真恵 曾賀野純希 東川康嗣 佐久間萌子 松井友哉 石原啓成 島優作 児玉充輝 園田啓太 山根聖弘 岩渕晟英 満野竜之介 安土陽平 林侑里 林幹士 細田智弘 坂本光男	初期臨床研修医 感染症内科
ナーシングスキルの活用状況の報告	篠山薫 増村美津子 菅智子 出水要子 臼田美奈子 敦賀谷小百合	看護部師長会
救命救急センターにおける救急科パス導入効果の検討	清水麻紀 金子幸絵 芝絃一	看護部
災害時アクションカードを作成、運用して	水嶋 真帆	看護部
プラス1の看護	平林奈那子 阿部真由美 高橋澄江	看護部
褥瘡回診における情報共有手段の検討	佐藤直人 橋本祥太郎 佐藤江利子 リハビリテーション科医師 一同	リハビリテーション科 看護部

演 題	演 者	所 属
救急撮影認定技師研修施設受入れへの取組み	菅澤諒 桂嶽亮 角田昭夫	放射線診断科
栄養サポートチーム介入患者の退院時の情報提供について	小笠原美穂 栄養サポート チーム一同	食養科 栄養サポートチー ム